

# Fujiidera High School

## 30th Anniversary



大阪府立  
藤井寺高等学校



## 「自他の敬愛と協力」 の教育方針を更に高く…



校長  
谷口 政己

春霞む河内国原 みはるかす御陵の森は…… 校歌の冒頭に詠まれているように、本校は、生駒、信貴、二上、葛城、金剛の山々に抱かれて豊かに広がる河内平野、その中に応神陵、仲哀陵、雄略陵など古墳の森が点在する緑豊かな文化の都市、藤井寺市に府立第87校として産声をあげ、今年創立30周年という記念の年を迎えました。

本校の創立にあたり初代森田敏夫校長先生は、教育方針の第1に「自他の敬愛と協力」を掲げられ、大小16個の丹波石が全体として心の文字を構成する「心の石庭」を作られました。私はこの石庭を次のように解釈しています。16個の石は多様な生徒の個性を表したもので、一つとして同じものはありません。しかし、1個の石が他との関わりを持たなければ、大きいか小さいか程度の「個性」すら気付くことはできません。16個の異なった石がお互いに関わり合う中で、自らの個性にも気付き、磨き合い、輝き合いながら、全体として実に優しい「心」という文字に収斂していく、まさに「自他の敬愛と協力」という教育方針のシンボルだと思っております。

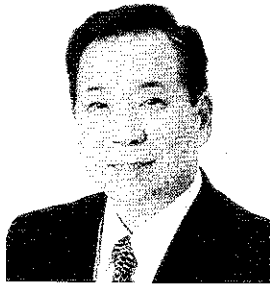
本校には全府立高校の中でも誇りうる教育活動として、20年に及ぶ藤井寺養護学校との交流、全国的にも数少ない交流・ボランティア活動に対する単位認定、更には7年目を迎えた市民公開講座による地域交流、3年目を迎えたオーストラリア・パースでの異文化交流、今も13,461名すべての卒業生の心に残るフェス体における青龍団・朱雀団・白虎団・玄武団といった学年を超えた生徒同士の交流などがあります。いずれも「交流」が柱となって本校の教育活動を貫いています。我々教職員や生徒たちが意識するしないに関わらず、すべて中庭の「心の石庭」から本校の教育活動が生まれ、展開し、発展してきたのです。そしてその原点となった「自他の敬愛と協力」は、個性の尊重・異なる個性との共生という、優れて今日的課題をも担った不易の教育方針です。残念なことに、森田先生は創立30周年の記念式典を待たず、本年5月23日に永眠されました。謹んで哀悼の意を表したいと存じます。

藤井寺市には伝統ある藤井寺工業高校が存在しますが、遅れて開校した本校は、市内唯一の普通科高校として地域の期待を担うことになりました。0時間目や7時間目、長期休業中の講習は、本校の進路指導の伝統になっています。この30年間、文字通り手弁当で生徒の夢を実現する教育活動に弛まず取り組んでこられた多くの先生方に深い敬意を表すとともに、この志を明日に受け継ぐ決意です。なお、今年度より開始した本校の新教育課程は、学校週5日制に対応して、文Ⅰ、文Ⅱ、理Ⅰ、理Ⅱの4つの類型から構成され、20もの学校設定科目を含む多くの選択科目、さらには7限目の授業や伝統ある講習等によって、生徒一人一人の進路の夢が実現できるよう編まれています。10年後の本校の姿を大いに期待するものです。

この30年間、本校は「優しさ」と「賢さ」を育てる教育を見事に統一して推進してきました。創立30周年を迎えた今日、開校の原点と30年間の教育活動に確信を持ち、激動する教育改革の流れの中で「自他の敬愛と協力」の教育方針を更に高く掲げ、悠久の道を邁進しようではありませんか。

最後になりましたが、本校はやっと「而立」の歳を迎え、独り立ちを始めたばかりの学校です。府当局、地元関係団体を始め、同窓会、PTA、育友会、そして地域の皆様方には、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

## 祝 創立30周年



藤井寺市長  
井関 和彦

大阪府立藤井寺高等学校がこのたび創立30周年を迎えられましたことは誠に慶賀にたえません。心からお祝い申し上げます。

この良き時に、藤井寺市長を務めさせていただいていることと併せ、本記念誌に措辞ながら祝辞を述べさせていただきますことを幸せに存じているところであります。

1974年、高校教育に対する府民の関心と期待が極めて大きい中、当時、人口5万7千人、大阪府下33市中最も狭小面積である藤井寺市の中に、工業高校に次いで2校目となる府立高校の開校を見たわけでございます。1期生の3割が藤井寺市在住生だったということを知り、地元の新設開校されたことを改めて喜ぶものでありますが、新設校ならではのご苦労が当時の教職員並びに関係各位に数知れずあったものと存じます。

その後、急速にすばらしい発展を遂げられ、生徒の自主学習制度についてだったと思うのですが、他校に見ることがない特色ということで、マスコミでも紹介されていたことがあったと私の記憶の中に残っております。生徒指導、進路指導に情熱を持たれていた歴代の校長先生をはじめ、教職員の方々、それに応える生徒たちの気質等々が、最高の歯車の噛み合わせとなり、藤高を前進させ、そして、その培われた成果をもって名門校としての地位を確立させてこられました。このことに、深甚よりの敬意を表する次第でございます。

昭和時代15年と平成時代15年の藤高30年の歴史の移り変わりの中で、バブル経済とその崩壊による社会経済の低迷、モノの時代から質の時代へと変遷してまいりました。そして今、国際化時代、高度情報化時代にふさわしい人間性の向上と能力の開発が叫ばれる中、30周年の一つの節目を迎えられ、改めてその伝統を顧みながら将来の発展を期するという意味におきまして大変意義深い年であると存じます。

藤高の更なるご発展と校長先生をはじめ教職員並びに関係各位の並々のご健勝にてのご活躍を祈念いたしまして、お祝いいたします。

## 創立30周年を迎えて



PTA会長  
出口 正広

大阪府立藤井寺高等学校、創立30周年を迎えられ心からお祝い申し上げます。本校開校以来、歴代校長、諸先生方、PTA歴代会長並びに実行委員の皆様方の、並々ならぬ努力の賜物だと思います。

21世紀を迎え、バブル崩壊後の10年におよぶ平成不況が続いています。消費需要も設備投資も依然として低迷が続けており、景気回復を実感する状況には、ほど遠いといえます。このような厳しい社会環境の中で、企業の生き残りを賭けたりリストラの嵐が吹き荒れています。こんな時代だからこそ、人と人との繋がりが、人の情けが大切に思えてなりません。

戦国武将、武田信玄の遺した名文に、『人は城、人は石垣、人は堀』があります。かれは、生涯城を築かず、そして他国に侵略されることなく生涯を閉じたのです。なぜならば、武田信玄の人徳により優秀な人材が集まり、人によって不敗の騎馬軍団ができたからです。今の現代社会でも「教育は人をつくり、人は社会をつくる」の言葉のように社会を良くするためには人づくりを、その為には教育をしっかりとしなければならぬと思います。どのように良い制度や良い法律があっても運営する人間により良くもなり、悪くもなります。人のことを思いやり尊敬のできる人、礼儀やしつけがしっかりとできて他人に迷惑をかけない人。そして、人生で一番大事なのはどれだけ素晴らしい人との出会いに恵まれるか、そして自分自身どれだけ素晴らしい人とつき合っているか。本校の中庭の『心の石庭』にも同じような願いが込められています。この精神を忘れずに、今後の皆様のご活躍と藤井寺高校の今後益々の躍進を祈念いたします。

最後に、30周年にあたりご協力いただきました、関係各位、学校当局、PTA関係各位に厚く御礼申し上げます。

## 校章



藤井寺市の市章をもとに、本校の限りない躍進と発展を象徴する金色の「高」の字を組み合わせたものである。市章は、玦状耳飾と前方後円墳をデザインしており、古代の遺跡にめぐまれた藤井寺市を表わしている。玦状耳飾は縄文時代の人々が用いた装身具で、藤井寺市の国府遺跡からも出土している。玦とは中国の古代玉器の一種で、中央に孔のある円盤の一部に切り欠きのあるものをいう。藤井寺市から羽曳野市にまたがる古市古墳群は、我国でも有数の大型前方後円墳を多数含み、藤井寺市が古代において重要な地域であったことを示している。

## 校歌

作者のことば 作詞・作曲 森井久夫

この校歌は大和川の堤防で生まれました。近鉄「国分駅」から大和川に沿って約7km西下したところに藤井寺高校があります。私はこの道を、晴雨にかかわらず、自転車のペダルを踏みながら通いました。南には応神天皇陵をはじめ、巨大古墳の森が次々に姿を見せ私の心を引きました。東には二上山、金剛、葛城の山々が悠然とすわり、帰路を楽しませてくれました。また大和川の四季の移り変わりもすばらしいものでした。春のつくしん坊、菜の花の群生、夏の緑と野鳥の歌声、秋の月見草、冬のユリカモメや鴨の飛来、この美しい自然を十分に観賞しながら、私は口笛を吹き、校歌を作りました。万葉集が好きだったので、歌詞は五七調にし、頭に浮かんだ歌詞に勝手なメロディをつけて、あれこれと考えているうちに現在の形のものででき上がりました。したがってこの校歌は頭で作ったのではなく、大和川と御陵を目の前に見ながら自然に浮かんできたものです。

## 心の石庭

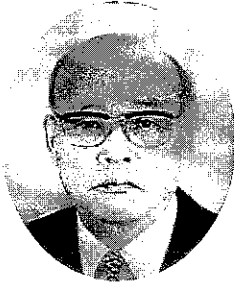


第三期工事の一環として昭和51年に完成した。初代森田校長の発案によるもので、様式は、八方正面の俯瞰庭園である。

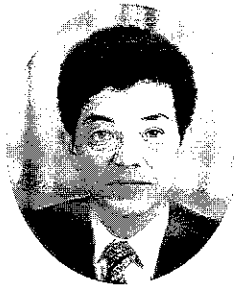
中央部分は、16個の丹波石と白川砂敷の石庭となっており、上方より見ると「心」の字となるように配置されている。石庭部の周囲には高麗芝の部分、校舎との境界部に灌木帯を配している。

灌木帯の樹種は、ヒラドツツジ、サツキ、ドウダンツツジ、シシガシラ、ジンチョウゲなどである。技師の方々の除草、剪定、消毒といった維持管理の努力のおかげで、季節に応じて、「芝生の緑、美しい花々が日を楽しませ、やすらぎをもたらし、また夏のきびしい日ざしを大いにやわらげ、学習環境を高める効果は、極めて大きいものがある。

歴代校長



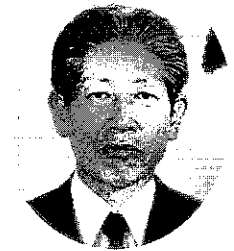
初代  
森田 敏夫  
昭和49年1月1日～昭和52年3月31日



2代  
土井 善博  
昭和52年4月1日～昭和55年2月28日



3代  
山田 忠雄  
昭和55年3月8日～昭和58年3月31日



4代  
市橋平三郎  
昭和58年4月1日～昭和63年3月31日



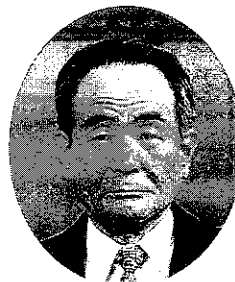
5代  
清水 正樹  
昭和63年4月1日～平成3年3月31日



6代  
油上 良蔵  
平成3年4月1日～平成7年3月31日



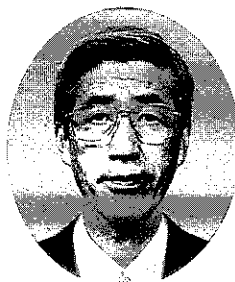
7代  
森井 久夫  
平成7年4月1日～平成11年3月31日



8代  
中野 尚  
平成11年4月1日～平成13年3月31日



9代  
清水 洋光  
平成13年4月1日～平成15年3月31日



10代  
谷口 政己  
平成15年4月1日～ 現在

## 思い出



9代校長  
清水 洋光

藤井寺高校創立30周年を迎え、学校の発展を心からお祝い申し上げます。私がお世話になった平成13年4月から二年間、校長として教職員の皆様方のお力をお借りし、生徒の「進路実現」と「心の教育」に微力を傾け、学校の発展に少しでも寄与できたことは、私の生涯にとって本当に幸せな時間だったと喜んでいます。

藤井寺高校に着任して先ず目にしたのは、静かな田園地区の中、生徒諸君がのびのびとそして礼儀正しく積極的に学校生活を楽しんでいる様子でした。また、教職員が皆様が生徒の夢の実現に向け、それぞれの分を心得て、自分の仕事に熱心に取り組んでおられる姿でした。

「藤井寺高校を育てていくのだ」という気概を皆さんの姿からひしひしと感じとることができました。

創立20周年からの10年間、激動の年月が流れました。特にここ数年の少年犯罪、あるいは学校を取り巻く悲惨な事件が私たちの心を痛めました。本校教育の大きな柱の一つ、「心の教育」が今まで以上に重視される時代になってきました。私も在任中、常に「心の教育」を教育の中心に考えていました。本校生は、藤井寺養護学校との交流をはじめ多くの活動を通じて「人を愛する心」、「他人を大切に作る心」を学ぶことができました。特に藤井寺養護学校の生徒の皆さんとの体育祭、文化祭における交流はお互いに多くのことを学ぶすばらしい体験だと胸を熱くしました。

創立30年というひとつの節目を迎えました。これからも生徒の皆さんが持っている一人一人のすばらしい能力を精一杯発揮する努力を、そして教職員の皆さんの生徒たちに対する情熱があれば、藤井寺高校は、ますます発展するものと確信しています。その根底には、今まで培ってきた藤井寺高校生の「人を愛する心」、「他人を大切に作る心」を忘れてはならないことは当然です。

藤井寺高校が50年、100年と発展・飛躍されますことを祈念し期待申し上げます。

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	瀬戸	勝己
1	玉井	規雄
2	伊賀崎	良太
3	小松	基二
4	畑部	裕
5	松浦	友志
6	川上	俊次
7	船勢	省三
8	長	実
9	石上	知良
10	平山	良彦
11	杉町	直之
12	青谷	耕児



研修旅行 長崎～雲仙



研修旅行 平戸～長崎



# 3期生

1976.4～1978.3

学年規模

12クラス

学年	第2学年	担任
主任	瀬戸	勝己
1	長尾	良広
2	杉町	直之
3	深谷	実
4	伊賀崎	良太
5	小松	基二
6	雨堤	敏子
7	松浦	友志
8	川上	俊次
9	村上	広行
10	玉井	規雄
11	西岡	美恵子
12	長	実



研修旅行 熊本

学年	第3学年	担任
主任	瀬戸	勝己
1	伊賀崎	良太
2	長	実
3	青谷	耕児
4	雨堤	敏子
5	小松	基二
6	深谷	実
7	玉井	規雄
8	村上	広行
9	松浦	友志
10	山田	博
11	川上	俊次
12	山田	忠男



女子バレーボール部



体操部

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	石香	享南 武夫
1	国分	俊夫
2	南	武夫
3	辻	礼子
4	山本	泰史
5	福西	浩
6	浅野	とも子
7	松井	美智子
8	畑部	裕
9	田中	道雄
10	辰巳	静司
11	橋本	章
12	西崎	実



スキー研修旅行



宿泊研修 串本

# 4期生

1977.4～1979.3

学年規模

12クラス

学年	第2学年	担任
主任	南	武夫/森井久夫
1	朝山	浩和
2	渡辺	謙二
3	山本	泰史
4	松井	美智子
5	橋本	章
6	辻	礼子
7	西崎	実
8	関本	幸子
9	筒井	完次
10	田中	道雄
11	富賀	肇
12	早川	友三



映画研究部

学年	第3学年	担任
主任	南	武夫/森井久夫
1	朝山	浩和
2	松井	美智子
3	早川	友三
4	山本	泰史
5	渡辺	謙二
6	関本	幸子
7	田中	靖二
8	国分	俊夫
9	橋本	章
10	南	昭
11	筒井	完次
12	富賀	隆



写真部





担任一覧



ワンダーフォーゲル部



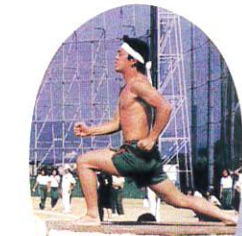
卓球部



囲碁・将棋研究会



宿泊研修 鈴鹿サーキット



藤高フェスティバル  
体育の部



学年	第1学年	担任
主任	森井 久夫	
1	古田由太郎	
2	谷口 房伸	
3	南 昭	
4	浅野とも子	
5	板倉 圭子	
6	来住 隆一	
7	筒井 完次	
8	村上 寛明	
9	辻 礼子	
10	松本 正	
11	国分 俊夫	
12	富賀 肇	

学年	第2学年	担任
主任	森井 久夫	
1	橋本 章	
2	谷口 房伸	
3	山本 泰史	
4	松本 正	
5	来住 隆一	
6	南 昭	
7	板倉 圭子	
8	丸田 和子	
9	浅野とも子	
10	渡辺 謙二	
11	村上 寛明	
12	辻 礼子	

学年	第3学年	担任
主任	森井 久夫	
1	古田由太郎	
2	国分 俊夫	
3	谷口 房伸	
4	山本 泰史	
5	辻 礼子	
6	松本 正	
7	浅野とも子	
8	渡辺 謙二	
9	来住 隆一	
10	早川 友二	
11	村上 寛明	
12	橋本 章	

担任一覧



藤高フェスティバル  
体育の部



柔道部

学年	第1学年	担任
主任	香川 義憲	
1	松下 元彦	
2	名村 恵史	
3	玉井 規雄	
4	長尾 良広	
5	前田美恵子	
6	渡邊 和也	
7	山田 慶文	
8	岡本 貞美	
9	田中 道雄	
10	岸本アヤ子	
11	福西 浩	
12	小川 勇	

学年	第2学年	担任
主任	香川 義憲	
1	中川 一男	
2	青谷 耕児	
3	松浦 友志	
4	仲谷 隆次	
5	前田美恵子	
6	帯刀多余子	
7	長尾 良広	
8	山田 慶文	
9	岸本アヤ子	
10	玉井 規雄	
11	渡邊 和也	
12	岡本 貞美	

学年	第3学年	担任
主任	香川 義憲	
1	青谷 耕児	
2	岡本 貞美	
3	前田美恵子	
4	松下 元彦	
5	岸本アヤ子	
6	竹谷 靖孟	
7	藤本知代子	
8	渡邊 和也	
9	房本 進吾	
10	福西 浩	
11	松浦 友志	
12	仲谷 隆次	



# 7期生

1980.4~1982.3

学年規模

12クラス



# 8期生

1981.4~1983.3

学年規模

12クラス

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	赤塚	民三
1	帯刀	多余子
2	古田	正博
3	房本	進吾
4	青谷	耕児
5	藤本	知代子
6	渡邊	和也
7	詫間	尊丸
8	神屋	和夫
9	平山	良彦
10	長尾	良広
11	玉井	規雄
12	古田	由太郎



藤高フェスティバル 文化の部（盆踊り）



体操部

学年	第2学年	担任
主任	赤塚	民三
1	長尾	良広
2	神屋	和夫
3	玉井	規雄
4	吉田	正博
5	詫間	尊丸
6	渡邊	和也
7	岸本	アヤ子
8	房本	進吾
9	岡本	貞美
10	古田	由太郎
11	藤本	知代子
12	帯刀	多余子

学年	第3学年	担任
主任	赤塚	民三
1	帯刀	多余子
2	神屋	和夫
3	房本	進吾
4	岸本	アヤ子
5	古田	由太郎
6	玉井	規雄
7	筒井	完次
8	藤本	知代子
9	吉田	正博
10	別所	俊彦
11	詫間	尊丸
12	村上	寛明



1年 マラソン（長居競技場）



春の遠足

陸上部



サッカー部



野球部

担任一覧

学年	第1学年	担任
主任	長	実
1	米田	けさ子
2	野口	俊一
3	香川	義憲
4	菊田	秀子
5	田中	道雄
6	辻	礼子
7	増田	恵理子
8	前田	美恵子
9	西崎	実
10	富山	治正
11	大野	好江
12	光田	藤一



藤高フェスティバル 体育の部

学年	第2学年	担任
主任	長	実
1	野口	俊一
2	香川	義憲
3	米田	けさ子
4	内田	吉彦
5	光田	藤一
6	原	蘭美恵子
7	田中	道雄
8	黒木	秀臣
9	増田	恵理子
10	前田	美恵子
11	富山	治正
12	渡辺	謙二



ラグビー部

学年	第3学年	担任
主任	長	実
1	黒木	秀臣
2	光田	藤一
3	増田	恵理子
4	大野	好江
5	長	実
6	香川	義憲
7	富山	治正
8	米田	けさ子
9	前田	美恵子
10	野口	俊一
11	田中	道雄
12	内田	吉彦



スキー研修旅行



バレーボール部（女子）

# 11期生

1984.4~1986.3

学年規模

12クラス

# 12期生

1985.4~1987.3

学年規模

12クラス

担任一覧

学年主任	第1学年	担任
1	吉田 正博	
2	岡田 正雄	
3	大塚 信子	
4	田中有美子	
5	菊田 秀子	
6	高松 史朗	
7	玉井 規雄	
8	別所 俊彦	
9	藤本知代子	
10	杉田 有史	
11	坂上 公一	
12	鈴木 和子	
12	大野木好江	



スキー研修旅行

学年主任	第2学年	担任
1	吉田 正博	
2	詫間 尊丸	
3	杉田 有史	
4	木村 好孝	
5	坂上 公一	
6	鈴木 和子	
7	大塚 信子	
8	大野木好江	
9	岡田 正雄	
10	藤本知代子	
11	高松 史朗	
12	菊田 秀子	
12	別所 俊彦	



1年球技大会

学年主任	第3学年	担任
1	吉田 正博	
2	岡田 正雄	
3	吉川 憲司	
4	坂上 公一	
5	木村 好孝	
6	早川 友三	
7	野口 俊一	
8	詫間 尊丸	
9	杉田 有史	
10	鈴木 和子	
11	大塚 信子	
12	大野木好江/山口清三	
12	妻谷 光治	

Fujieda High School  
30th Anniversary



藤高フェスティバル 文化の部



野球部

# 15期生

1988.4~1990.3

学年規模

12クラス

担任一覧

学年主任	第1学年	担任
1	鳥越 啓嗣	
2	吉元紀美子	
3	川村 高明	
4	渡辺 武	
5	光田 藤一	
6	長 実	
7	内田 吉彦	
8	伊藤 眞治	
9	稲田 和子	
10	吉田 淑子	
11	磯野 彰	
12	山本 陽子	
12	岡本 貞美	



藤高フェスティバル 文化の部

学年主任	第2学年	担任
1	鳥越 啓嗣	
2	光田 藤一	
3	長 実	
4	吉元紀美子	
5	川村 高明	
6	内田 吉彦	
7	稲田 和子	
8	磯野 彰	
9	吉田 淑子	
10	伊藤 眞治	
11	渡辺 武	
12	山本 陽子	
12	岡本 貞美	



学年主任	第3学年	担任
1	鳥越 啓嗣	
2	渡辺 武	
3	長 実	
4	磯野 彰	
5	伊藤 眞治	
6	稲田 和子	
7	内田 吉彦	
8	岡本 貞美	
9	吉田 淑子	
10	吉元紀美子	
11	中坂 欣司	
12	光田 藤一	
12	川村 高明	



タコあげ大会

Fujieda High School  
30th Anniversary



2年遠足

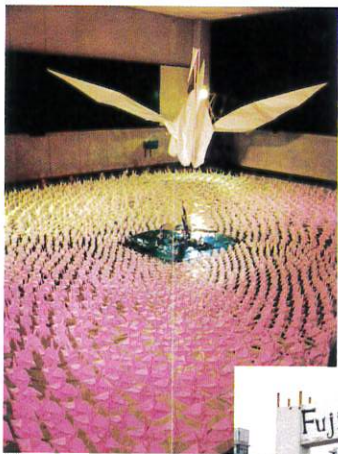
# 16期生

1989.4~1991.3

学年規模

12クラス

担任一覧



藤高フェスティバル  
文化の部



藤高フェスティバル 体育の部



茶道部

# 19期生

1992.4~1994.3

学年規模

12クラス

学年	第1学年	担任
主任	岡田 正雄	
1	妻谷 光治	
2	楳原 竜二	
3	河上 修	
4	金丸 七郎	
5	吉田 正博	
6	杉田真規子	
7	河内 正行	
8	平岡 宏一	
9	中川 洋一	
10	中島 明人	
11	橋本 保子	
12	松本 貴仁	

学年	第2学年	担任
主任	岡田 正雄	
1	中島 明人	
2	川村 高明	
3	稲田 和子	
4	橋本 保子	
5	平岡 宏一	
6	妻谷 光治	
7	河上 修	
8	金丸 七郎	
9	楳原 竜二	
10	中川 洋一	
11	河内 正行	
12	吉田 正博	

学年	第3学年	担任
主任	岡田 正雄	
1	中川 洋一	
2	河上 修	
3	橋本 保子	
4	楳原 竜二	
5	稲田 和子	
6	河内 正行	
7	中島 明人	
8	米田けさ子	
9	妻谷 光治	
10	平岡 宏一	
11	川村 高明	
12	吉田 正博	

担任一覧



お昼ごはん



藤高フェスティバル  
文化の部



# 20期生

1993.4~1995.3

学年規模

12クラス

学年	第1学年	担任
主任	中川 武之	
1	冠木 宇治	
2	伊藤 眞治	
3	磯野 彰	
4	請田 正幸	
5	田原 伸	
6	塩野 順夫	
7	中川 輝美	
8	中須賀敬子	
9	関本 幸子	
10	吉田 淑子	
11	田原 久徳	
12	伏井 信之	

学年	第2学年	担任
主任	中川 武之	
1	吉田 淑子	
2	関本 幸子	
3	田原 久徳	
4	伊藤 眞治	
5	冠木 宇治	
6	中川 輝美	
7	塩野 順夫	
8	磯野 彰	
9	中須賀敬子	
10	田原 伸	
11	伏井 信之	
12	請田 正幸	

学年	第3学年	担任
主任	中川 武之	
1	田原 伸	
2	伊藤 眞治	
3	伏井 信之	
4	磯野 彰	
5	中川 輝美	
6	田中 健一	
7	請田 正幸	
8	木村 好孝	
9	塩野 順夫	
10	関本 幸子	
11	中須賀敬子	
12	冠木 宇治	



フォークソング部

### 3. フリーライターでユニークな活動続ける林日出夫君（2期生）

林君は藤高時代には、まさに青春時代を謳歌していた。野外活動に参加したり、仲間と「映画研究部」を結成し当時流行していた8ミリカメラを駆使し、ドラマ作りに熱中していた。自分でシナリオを書き、主演のギャグを演じ、カメラワークや仲間の演技指導など、まるでチャップリンのように活動した。藤高祭には8ミリ映画大会を他のグループと共に開催し全体の盛り上がりを助けた。

卒業後も映画制作グループを作り、怪奇映画を作るなどで技術を輝いた。

その後、林君は文筆の力を生かし、独立して事務所を構え、漫画家と組んで、ドラマ部分は自分が担当するという新しいやり方を生み出し、「少年ジャンプ」等の雑誌に継続して作品が掲載された。その他、タウン誌の記事の取材など、フリーライターとして積極的に活動している。

### 4. プロのアナウンサーとなった近藤栄さん（6期生）

藤井寺高校同窓会設立20周年記念行事は大阪南港から神戸方面を往復するクルーザーの中で開催された。約200名の参加者は快晴の大阪湾に照り輝く夕日を楽しみながら、船中でミーティングを行ったが、その集いを盛り上げてくれたのが、近藤栄さんだった。近藤さんはその日集まった大勢の旧職員や各期の同窓生など、お互いにつながりの薄い参加者同志を一つにまとめる難しい司会者を担当してくれた。ユーモアと歯切れのよいトークによって参加者は心のステージのプログラムに集中し、明るい盛り上がりの中、会は無事終了した。終了後、彼女から貰った名刺でラジオ大阪のアナウンサーだと分かった。少しばかり話したが、彼女は各種イベントの司会や結婚式の進行役も仕事としているのでよろしくということであった。新しい時代の新しい女性の生き方としてここで紹介したい。

### 5. 藤田まことの「必殺仕事人」のシナリオを書いた中西欣也君（1期生）

藤高の文化クラブの一つ写真部に中西君は属してした。大和川のカモメを撮影したり、8ミリ映画で「古市古墳群」の制作に全力投球したことがあった。特に映画制作に彼は興味を示し、ただ単に古墳を撮影するだけではなく、よい作品にするために、シナリオが必要、映像の組合せのノウハウも大切、テーマをどう決めるかは無視できないなど、部長の石川君と手を組んで作品を完成させた。羽曳野丘陵から夕日に照らされた古墳群のラストシーンは感動的だった。

このクラブ活動の体験以外に、たまたま私が国語の授業で取り上げた黒澤明のシナリオ「生きる」に対する強い関心が彼の卒業後の道を決定した。彼は大阪シナリオ学校に入学し、専門的に映画作りのノウハウを勉強した。そして数年後、彼から一枚のはがきが届いた。それによると、3人のシナリオ制作グループ「正中恵」というペンネームで、藤田まことの「必殺仕事人」のシナリオを書き、採用されたのでぜひ見てほしいということであった。正中恵の「中」は中西君を表している。昔はシナリオというひとり書いたものだが、作品を面白くするために、例えば黒澤明の「七人の侍」が橋本忍、小国英雄と組んで共同でシナリオを書き、古今の傑作に仕上げたように、中西君も3人で書くことによって、お茶の間の時代劇としては、本格的でスリルに満ちたドラマに仕上げている。現在は、シナリオだけでは生活ができないので、サラリーマンとなって、また新しい作品を発表したいと抱負を語っている。

### 6. オーボエ奏者となった山根久美子（旧姓杉本）さん（6期生）

山根さんのお父さんは、藤高PTA会長を務めておられ、私と親交があり、「娘を音楽の道に進ませたい」といった話もされていたので彼女に関心をもっていた。個人的にオーボエのレッスンを受けているということだったので内心驚いていた。というのも、オーボエという木管楽器は演奏技術が難しく、いつも息を入れる二枚舌のリードを自分の口に合うように、音が出やすいようにナイフで削らなくてはならない。そんな楽器をやる以上よほど音楽の素養があるに違いないと考えていた。私も関西シティフィルハーモニー交響楽団でバイオリンを弾いていたので、オーボエについてもある程度理解があった。

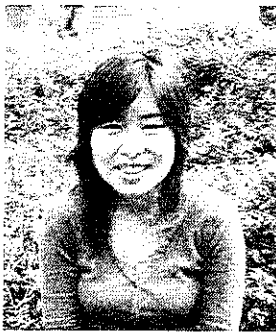
山根さんはお父さんが願ったように、大阪音楽大学に入学し、本格的にオーボエ奏者として成長していった。ある時何気なく大阪音楽大学案内のパンフレットを見ていると、山根さんが大きく写っているのを発見し喜んだことがあった。それから数年間の彼女の消息は分からなかったが、4年ほど経ったある日、私のオーケストラに突然、客演奏者として山根さんがやってきて指揮者から紹介された。何のことはない、私たちの指揮者、橋本徹雄先生は大阪音楽大学の先生であり専門がオーボエであったので、山根さんの指導者でもあったのだ。山根さんも私を見て喜んでくれた。こんな再会があって、しばらく彼女とリサイタルを共に経験した。彼女のオーボエの演奏する姿に初めて接したが、音色やリズムが安定していてまさにプロの技術に達していた。間もなく彼女は橋本先生が仲人となり結婚したが、何回かリサイタルを開き感動的な演奏を聴かせてくれた。



浮かぶ、とっても感動的な経験をしました。ここ三年間、毎年、テレマン室内管弦楽団との共演も経験し、多種多様な物を見たり聞いたりして、より豊かな感性を求め、できる限り勉強を続けていきたいと思っています。そして、この頃授業で思うことは生徒達に自己表現ができる感性をどの様に養わせるか、ということです。週一時間という限られた時間の中では、“至難の技”のように思われますが、豊かな感性を育むためにも、授業のあり方について、今後も研究をし続けたいと思っています。

## 上野恵美

16期生



私は現在、雑誌の編集、ライターをしています。思えば、やりたかったことを現在、実現できているのは、高校時代の担任の先生の影響が大きかったように思います。先生に「あなたたちには可能性があるのだから、“自分”さえちゃんと持っていたら大丈夫」というキンパチ先生のようなことを言われたのを覚えています。当時の私は「そうか？」なんて思っていたのですが、思い返せば、結局人生の選択の場面でこの言葉が励ましとなってきました。やっぱり仕事ですし、思い描いていた理想とは違い、厳しい面もたくさんあります。また、「現在の自分が理想通りか」と聞かれれば、即座に「NO」という答えです。でも、自分を見つめて出してきた答えの積み重ねが現在の自分なので、納得はしています。先生の言われた“可能性”は無限大の財産だと、今は痛感してい

ます。だからその財産をウソでもいいから信じて、自分を見つめ直してください。それが夢への近道のような気がします。

## 馬場健太郎

23期生



左から2人目が馬場君

高校在学時はとくに角挫折の繰り返しであったように思います。とりわけ勉強の出来が悪く、成績表は醜いものでした。それでも決して高校嫌いにならなかったのは、学校生活が頗る順調で、極めて満足のいくものであったからです。他人の後塵を排しながらも満ち足りた3年間を送ることが出来たのには、幾つかの理由があります。

まず第一に、現在でも親しくしている友人たちの存在です。中でも当時在籍していたラグビー部の部員との間には、4年の時を経てもなお色褪せることのない思い出が満ちています。それもどういった訳か、試合よりも夕方からの練習の方がハッキリと記憶に残っています。今でもこうした思い出話を始めると、自然と笑いが起こって絶えることが有りません。彼らとのエピソードはどれをとっても懐かしく、こうした素晴らしい友人たちに出会えたことに感謝しています。

次に旧担任団を始めとして先生方の教えが挙げられます。とは言うものの、授業中は立たされたり、前後左右雑談したりして、何とかして授業という「病魔」の発する苦痛を柔らげようとしていました。だから、先生方との思い出は教室よりも職員室や生指の部屋の方が多いかもしれません。3年間を通じて様々な先生にお世話になりました。その中でも印象に残っているのは、先生方が単にそれぞれの科目内容を教えるに止まらず、より広がりのある「人生の生き方」を説いておられたように感じたことです。換言すると、それは恰も人生に対する姿勢とでも言うべきものであり、それぞれの「人生哲学」と言っても過言ではないと思います。

こうした友人や先生方さらには、両親を含む多くの方から教わった「生き方」の授業が私にとっては最も価値あるものに思えます。

卒業してからも「挫折の環」の中から抜けられず、浪人生活を送りました。加えて一浪後合格した大学（関西大）も中退し、慶応大学に再入学する等決して褒められた人生ではございません。しかし今後の人生で、何か世の為人の為になるような仕事が出来たら望外の幸せであり、その時になってようやく先生方の「授業」の成果が実るものだと思います。

それでは、母校の益々の発展を願って拙文を終えたいと思います。



6月7日 フェス体育の部  
文武あっばれーど最優秀賞



総合グランプリ 青龍団



〈アトラクション最優秀賞〉  
「生徒にラブ・ソング」



劇「番町血屋敷」〈準グランプリ〉



(プロ吉川先生を迎えて)バスケット部充実!



模擬店／だかしやに来てや。



はり絵グランプリ／生きる



展示グランプリ／トトロ



アジアンカルチャー（歌と踊り）



男性も尺八や琴の音を楽しんでいます。（箏曲部）



楯原先生を迎えてバレー部が充実!





フェス文化の部(9月19・20日)  
23期のおかげでクラス演劇が盛ん  
になりました。



樽原先生  
女子バレー部顧問

## 藤高23期生の思い出

藤井寺高校創立30周年おめでとうございます。「藤高を思い切り楽しんでやろう。」そういう意気込みで満ちた23期生との3年間は、授業、行事、部活動とどれをとっても充実したものでした。特に印象深いのは、2年生の冬に行われた、当時の藤高の名物でもあった志賀高原・横手山へのスキー修学旅行でありました。上質の雪の中でめきめき上達する生徒たちは、先を読んで行動し、協力しながら練習を重ねて臨んだ合唱大会も感動的でした。私はこの数年、藤高が利用していた硯川ホテルで正月を迎えておりますが、ホテルやスキースクールのスタッフの方々がかつても「藤高生は素晴らしい。」と誉めてくださる度に誇らしく感じております。

冗談の飛び交う職員室、しかしいざ生徒のこととなれば真剣な議論ができ、支えあうことが出来た職員間の雰囲気、藤高生の人なつこさや優しさを引き出していたように思います。私自身も、个性的で指導力のある周囲の同僚から多くのことを、おそらく生徒以上に学ぶことが出来たと感じております。

私は23期生の卒業と時を同じくして藤高から転出いたしました。現任校でも世界史の授業展開や生徒との面談の時など、藤高時代を思い起こしながら試行錯誤を繰り返しております。最後になりましたが、当時の学年主任・木村先生をはじめ、諸先生と職員の方々に感謝の気持ちを述べさせていただきます。そして、これからも藤高が包容力のある学校として発展されることをお祈り申し上げます。



どんどん技術を身につける君達!!  
2月27日～3月3日 横手山スキー場



球技大会 10月30日

## 忘れられない思い出



稲田和子先生

23期生の思い出はその入試の日が始まります。その日教室に入室する時刻になっても藤高にたどり着かない受験生が1人いるとのこと、急きょ教頭の杉岡先生の配慮で探しに行くことになりました。カーピーランドまで行くとずっと先の路地の奥に藤高から遠ざかってゆく学生服の男子生徒の後姿がありました。あわてて車を降り走って追いかけてみると探していた生徒でした。

なぜ藤高から遠ざかる方向に歩いていたのか理由を聞いている暇などありません。急いで車に乗せ、上履きに履きかえさせ「大丈夫、まだ間に合うから。落ち着いて…」と声をかけましたが内心は間に合うのか私の方が不安でした。

あとから考えてみると焦っていたのは私だけでその生徒はその間無言、落ち着き払っていたようにも思いました。そして4月、自分が担任する新1年生のクラスの中に彼の顔を見つけたときは本当にびっくりしました。入試の日のことを思い出してドキドキしている私とは正反対に、彼はあの日のことなどまるでわすれたかのようにやはり無言でした。これが23期生の思い出深い生徒の1人であるF君との出会いでした。

そしてもう1つの大きな思い出は卒業式の夜、「ニュー鳥ふじ」での教員ごころうさん会での出来事です。学年主任の木村先生の提案で担任が順番に一言ずつ発言することになりました。日頃から何かにつけ涙もろい私や小さな子どもをかかえ育て真最中で3年間がんばった田中有美子さんはもちろんのこと平岡先生、木田先生、樽原先生、吉川先生までが1年間を振りかえり、23期の3年間を思い返して泣いたのです。今となっては話の内容を正確に思い出せるわけではありませんが、そこに出席した担任すべてが思いを語りながら泣き、人の話を聞いてはまた胸がいっぱいになり泣いたのでした。

23期生の担任は途中病気とけがで休まれた西野先生の応援に冠木先生と森安先生に入ってもらいましたが、結局10人の担任は全く入れ替わることなく持ち上がりました。その分私たち教師と生徒のかかわりは深く思い入れは強かったのだと思います。学年主任を含め23期を持ち上がった仲間と卒業式を終えた日に、その思いをあらためて共有できたことが私の藤高での財産の1つとなっています。



奇跡の人  
感動的な熱演でした。



どの団もすごいアピ看が  
競演していました。  
(アピ看の大型化、立体化実現!)



応援団長 団旗集合

### 青龍団 3年2組 上田亜維

今年は、先生方から「団のカラーや、イメージにあまりこだわらず、自由に造りなさい。」と言われたのですが、私たち青龍団はあえて、「青龍」にこだわりました。

私たちが造ろうとしたものは、ペにや板を2枚、縦に並べた両手開きの龍の絵を書いた扉と、動かせることのできる巨大な龍でした。最初の方は、簡単にできると思っていました。しかし作業は予想よりも遥かに難しく、途中で妥協して、別のものに変えようかとも思ったのですが、アピ看以外の人たちの助けもあって、体育祭の当日の朝、やっと完成することができました。

優勝という最高の賞を頂いたことは大変うれしかったです。それに加え、1年生から3年生までの3学年が集まり、何かを造り上げたという達成感、高校生活でしか味わうことのできない、貴重な経験だったと思います。



藤高フェスティバル 文化の部  
庭のライブ



模擬店  
O157のため、縮小されていた手作りの食品部門が再開された。



フェロもち(3-1)  
グランプリに輝くもちつき。



関本学級 コーラス



ソフトテニス部



卓球部



杉本光恵先生

## 25期生を担当して

25期生は十クラスでその前年度より一クラス増えたこともあり、多様な生徒のいる学年だった。強風を伴った雨の入学式当日は、担任団の中から「今後を暗示するような天気やなあ。」という声も聞かれた。事実、一年時では藤高で今までなかったようなでき事が続いた。ただ、大半の生徒は人なっこく、影日向のない良い生徒が多く、私の担任した一年五組などは皆んな仲が良く和気藹藹とした雰囲気であった。しかし二学期も終わりに近づいたある日、クラスで「進級の心配な生徒はクリスマス・イヴに親と一緒に来てもらうから予定しておくこと。」と言うと返ってきた言葉は「えー、先生クリスマス会するの？」であった。二、三年と学年が進んでも、教員の常識とは、ずれを生じているような意識をもった生徒が増えつつあるのも事実だった。しかし、最後の最後にいろんなでき事を起こした生徒達が私達の予想を大きく上まわる準備や役割を果たしてくれて、本当にすばらしい卒業式第二部を演出してくれた。三年間、様々な場面で生徒達を厳しく指導された学年主任の中谷先生が、思わず涙される場面があり、担任の一人として感慨もひとしおであった。



アピ看朱雀団



3-9(全員参加の見事な舞踏)  
ソーラン節2000 — 2000年への旅立ち



力強い和太鼓のバチさばき



青龍団応援合戦フィナーレ



体育大会 応援団 総合の部一位(麒麟組)



3-3(白雪姫)  
総合グランプリ



退職なさる青山先生への感謝状をを贈る。  
(スキー研修旅行にて)



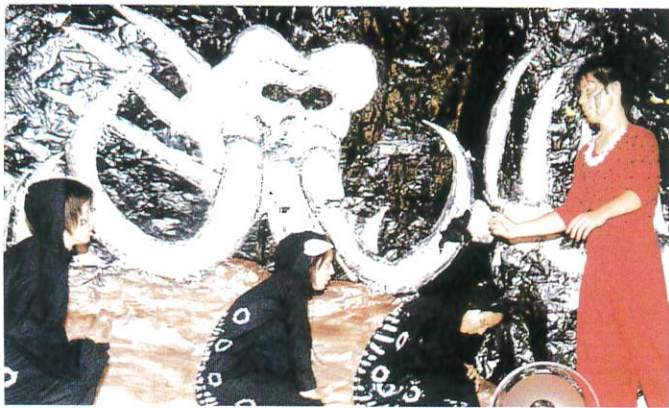
おいしいナりんごです。



藤高フェスティバル 体育の部



応援の部 麒麟組



ザ・ライオンキング グランプリ(3-7)



藤高フェスティバル 文化の部



優勝 たべチャイナ 模擬店



新撰組(3-9)

平成14年  
(2002年度)

# 29期生

2年 8クラス

男 156名  
女 166名  
計 322名

### ■生徒会行事■

- 6月6日  
藤高フェスティバル体育の部
- 9月19日・20日  
藤高フェスティバル文化の部



2年主任  
吉元紀美子先生

## 29期生に思う

2003年6月藤高生が熱く燃える日が来ていた。全学年8クラスとなり縦割り4回に分割編成され、3年生各回の指導が見事に充実していた年でもあった。2年になった29期生も運動部に所属しない生徒の多くが応援団やアピ看作りで動員されてゆき、短期間の内に燃えていった。あの日、たった一枚の手作りの賞状を競い合い、手渡される金色のトロフィに彼らが一様に涙するのは、なぜか。— 発表時間、使える費用、人

数などあれだけ多くの制約の中で彼らは自分達の総力を挙げて一つの形あるものを、その日までに完成させたのだ。一見、莫大なエネルギーの浪費に見えるその作業の日々に今は失われかけている教育の原点を私は見る。原案を作る能力、先輩達の残した遺産から学ぶ力、他者(自分以外の人間)を動かすことのむつかしさ、指導する者としての責任のとり方— 世界を読み解き生きてゆく一人一人の市民を育てる教育にこれ程ふさわしい場はないのではないのか。この立体構造を日々の学習にとり入れる術を今また私は模索している。

### 1年担任

(主任) 杉野美智子  
1組 岡田 悦子  
2組 八木沼 隆  
3組 岸田 弘文  
4組 秦 秀和  
5組 阪本百合子  
6組 吉元紀美子  
7組 永田 禎一  
8組 浅野 和実

### 2年担任

(主任) 吉元紀美子  
1組 八木沼 隆  
2組 浅野 和実  
3組 岡田 悦子  
4組 永田 禎一  
5組 鈴木 正見  
6組 阪本百合子  
7組 岸田 弘文  
8組 秦 秀和

平成15年  
(2003年度)

# 30期生

1年 8クラス

男 151名  
女 169名  
計 320名

### ■生徒会行事■

- 6月6日  
藤高フェスティバル体育の部
- 9月19日・20日  
藤高フェスティバル文化の部



1年主任 十河静男先生

## 学歴は必要

30期生も、1学期が過ぎ藤井寺高校の生活に慣れてきた頃です。入学当初の勉強に対する意欲も少し落ちてきています。このままでは、自分の目標の進路には進めません。

京都のある府立高校では国公立大学への進学が本校並の十名程度であったのが翌年には100名以上の合格者を出したそうです。要因はいろいろあると思いますが最も大切なのは、本人のやる気です。受験勉強は非常にしんどい事ですし、他の楽しい誘惑が多いので、なかなか最後まで

やり遂げられません。

最近、学歴など関係ない。実力があれば良い。とよく言われていますが、実力とは何でしょうか。一般の仕事では、仕事をする事によって、その仕事に精通し熟練するものです。その仕事にかなければ、その仕事の実力はつきません。入社試験で必要なものは色々あります。その中で、自分で身につける事ができるものは学歴だけです。京都の府立高校の生徒のように、本校の生徒もやればできると思います。

学校のルールを守りながら、目標の大学に入学できるように、保護者の皆様のご協力をお願いします。

### 1年担任

(主任) 十河 静男  
1組 中谷 利春  
2組 仲村 公志  
3組 川上 伸吉  
4組 吉田 良男  
5組 筒井 真澄  
6組 内海 始  
7組 大橋 哲嗣  
8組 西澤 宏一

## 交流この10年



## 藤養の高等部生徒と藤高生の交流

交流ボランティア活動推進委員会委員長

木田 誠

2000年度、生徒交流委員を各クラス選出の委員とした委員会が成立した。あわせてボランティア活動の単位認定制度もスタートしている。

それまでは各交流参加者をクラスごとに割当てたり、関心のありそうな生徒に「声かけ」をして募集していた。もっと藤養生と藤高生が仲良くなれたらいいな。こう言っていた当時の担当者の声は今も耳に残っている。

当初は、ボランティア部の活動とだけ見られていた交流活動であった。96年度ぐらいからだろうか、「声かけ」応募者の中に「専門家」が現れはじめた。「カラオケ交流にだけは絶対参加する」とか、「気が付けば授業交流の粘土造形に毎年参加してた」という生徒たち。

2000年度からはボランティア部活動と共通部分を残しつつ、新たに各クラスで募られた交流委員を中心とする形態となった。交流委員長は藤高交流行事の代表という高い地位でもある。

ボランティア活動の単位認定者は今年3月で7人にのぼる。とくに交流参加者に対して成績書類の上でもねぎらいたい、又、明確に「単位認定」の語でその行動を賞賛してゆきたいという思いからスタートした。毎年交流委員会の審査によって単位認定を行っている。

## 〈参考〉

現在の藤高と藤養の交流行事(一般募集分のみ掲載)

1学期=生徒会執行部・交流役員交流、宿泊交流、フェス体交流、授業交流・音楽交流

2学期=フェス文交流、藤養体育大会交流、カラオケ交流

3学期=藤養文化祭交流

歴代の参加生徒に感謝！である。

海外交流体験研修  
in Perth

広大なオーストラリアを舞台に、異文化交流と外国語表現へのチャレンジを目的として、平成13(2001)年度から始まったこの行事は、同窓会・PTAのご援助を得て過去2回実施してきた。世界で最も美しい街パースで、ホームステイ先のホストファミリーの心暖かいもてなしに支えられて、大変有意義な交流行事を体験した、延べ54名の参加生徒のアンケート回答や感想文を分析すると、この行事に対する満足度が非常に高く、その後の自分の生き方に、より自信と積極性を持てるようになったと答えるものが多い。実際に、京都外大をはじめ外国語系への進学者が多数出たり(第1回参加者32名中10名)、この就職難の時代に見事就職試験に合格したり(第1回から2名)、生徒会の会長に就任した生徒が出た。このように、チャレンジ精神を発揮してチャンスを活かす生徒が多く出たことに力を得て、平成15年度も3月に第3回目の研修を計画中である。







夏服



冬服



これが藤井寺高校の新制服です。

男女とも冬服はモスグリーンの3つボタンのスーツです。女子のスカートはチエック、男子のスポンはグレー色です。来年、4月から導入です。

眠大魔王」も「おしゃべり大魔女」もいるが、何となく憎めない生徒たちである。ちょっと勉強は苦手かもしれないけれども、最高学年としてフェス体育でも、クラブでも、さまざまな場面でリーダーシップを発揮してくれる。これからの成長が楽しみである。夏休みを迎えてきっと勉強でも頑張ってくれると期待はしている。

彼らのリードの下、2年生、1年生がこの雰囲気を引き継いでがんばってくれば、30周年を迎える藤高の未来もなかなか明るいではないかと思ったりもする。実際、元気が前にでる2年生も、入学したばかりで素直な1年生も、それぞれに期待を持たせてくれるし、それぞれの学年団、担任団の先生方は自分の学年に入れ込んで一生懸命いろいろな指導に忙しい。ありがたい事である。

## 一歩一歩進んでいく

生徒指導部の仕事は生徒たちが基本的な生活習慣をきちんと確立できるように支援することにある。過日と比べると高校生を取り巻く状況は大きく変化しつつある。深夜に外出したり、友人と過ごす事がまるで異常とは思われなくなってきた。バイトに多大の時間を費し何が本業かわからぬ生徒も増えてきた。高校生に対する誘惑は増すばかりであり、ともすれば自分のすべきことを見失いがちになる。ひとたびこのような道に迷い込めば、堅実な高校生活の基盤は掘り崩されずにはおかない。本来正面から取り組むべき勉学に向かないで、遅刻をしないというような(あるいは授業中に化粧をしないなどという)社会生活のもっとも基本ともいえるべきことがこなせなくなる。また、犯罪や事件に巻き込まれる危険も増えてきた。

幸い、高校生活に支障を来し、生徒指導部の指導を必要とする生徒は少数である。その意味では大部分の生徒は健全な高校生活を送っているといえる。しかし、社会から切り離されているのでない以上、多かれ少なかれこれらの影響を免れないこともまた事実である。それぞれの生徒の状況に合わせて、保護者の協力を得ながら、担任と連携をとって基本的な生活習慣の確立を支援していくという生徒指導部の地道な活動が必要とされる所以である。「十年一日の如し」。されどこの日々の営みが来るべき未来を拓くものと信じて、今日もまた一歩一歩進んでいきたいと思っている。

となっている。

この中で、文化祭リーダー合宿と文化部合同発表会は、1996年度以後の記録からは消えている。

次に、1学期最大のイベントといえば、フェス体において他にはあり得ない。競技の他に、応援・あっぱれ一ど・アピール看板・藤井寺養護学校との交流行事等、多彩なメニューで初夏の一日を思う存分楽しんでいる。しかしクラス数の減少により、6団対抗（朱雀・青龍・玄武・白虎・麒麟・騶驥）は1996年度までで、97～2002年度は騶驥の抜けた5団、そして全学年8クラスずつになった2003年度は麒麟がなくなり、4団対抗になった。

9月はフェス文一色。各クラスは、アトラクション・舞台・展示造形・映像・模擬店等の部門賞と総合グランプリめざして、7月から準備してきたアイデアやリハーサルの成果を競い合う。また、はり絵やポスター・垂れ幕等の製作にも力が入る。生徒会執行部が中心となる本部企画も毎年の楽しみである。もちろん、フェス文は文化部やPTA・教職員の発表の場でもある。さて、模擬店の飲食店関係にとって残念だったことは、96年・98年のO-157事件による中止であろう。また、94・95年頃は午後7時前まで後夜祭を実施していた。

## 2001年 フェスティバル ー文化の部ー

- 1-1 (映像) 藤井寺ウエストゲートパーク
- 1-2 (演劇) オキナワガール
- 1-3 (模擬店) BIGアメリカン
- 1-4 (展示造形) 動物園
- 1-5 (合唱) トトロがいっぱい
- 1-6 (展示造形) 大仏
- 1-7 (アトラクション) マッスル十河ー青春ストーリー
- 1-8 (ミュージカル) ダンス
- 1-9 (模擬店) マーボもち



〈2-3 恐怖の藤高〉

- 3-1 (模擬店) 大志
- 3-2 (アトラクション) BATTLE DE STRUCK OUT
- 3-3 (演劇) 天使にラブソングを
- 3-4 (模擬店) バランパウッキー
- 3-5 (映画) ロッキー9
- 3-6 (展示造形) 名もなき絵画
- 3-7 (模擬店) 愛に恋
- 3-8 (ミュージカル) Dance & Song
- 3-9 (舞踏) ソーラン節2000ー2000年への旅立ち
- 3-10 (模擬店) だぜまかせ



(1995年) はり絵 3年10組 (Roman Holiday)

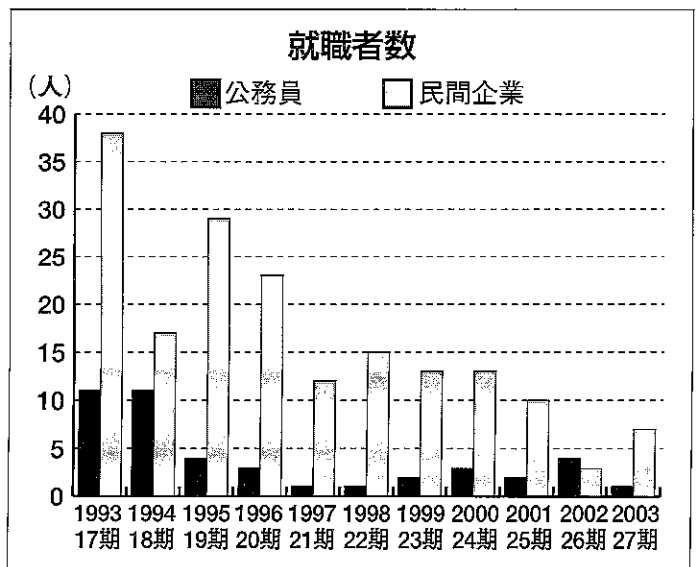
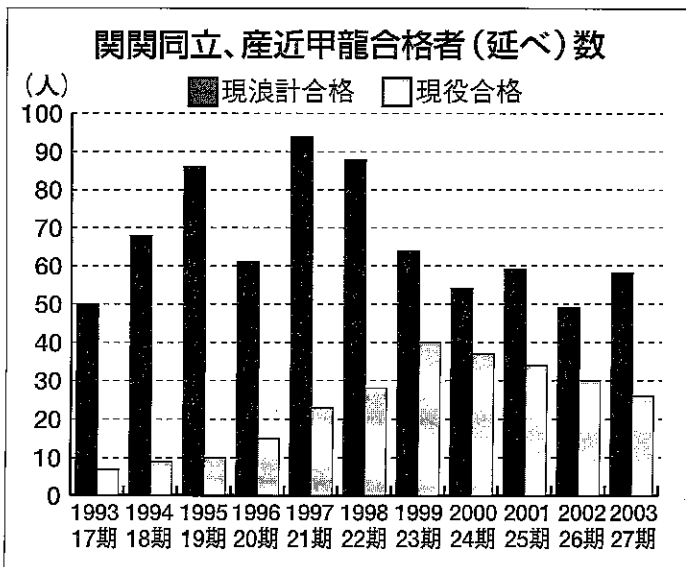
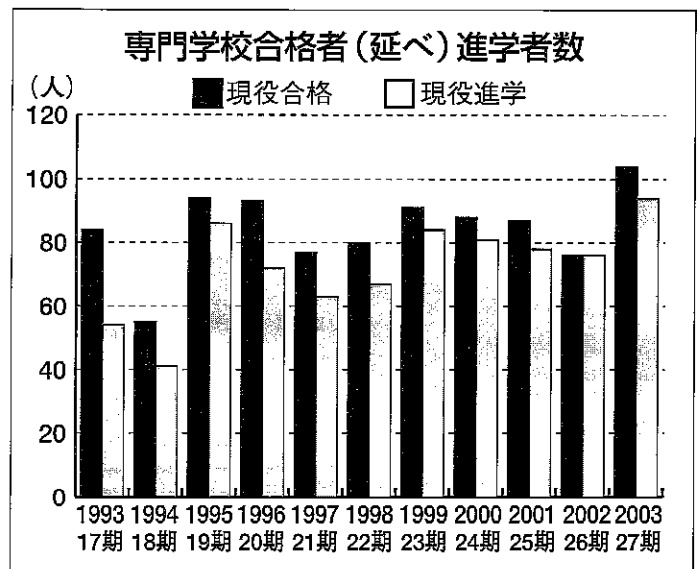
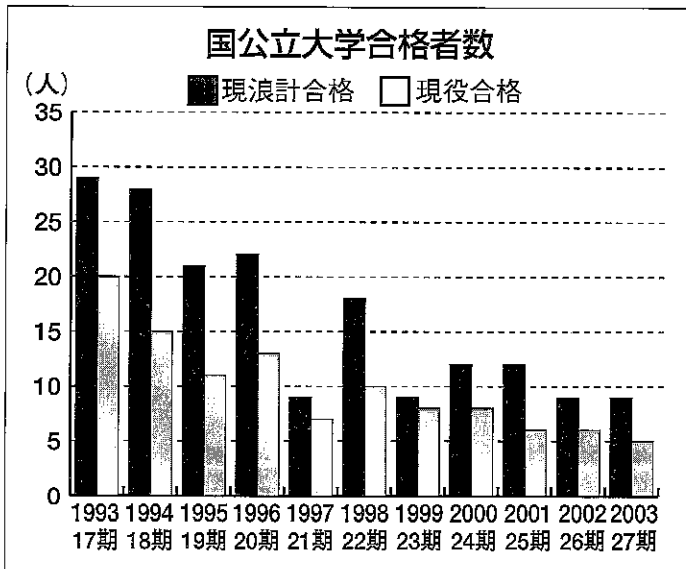
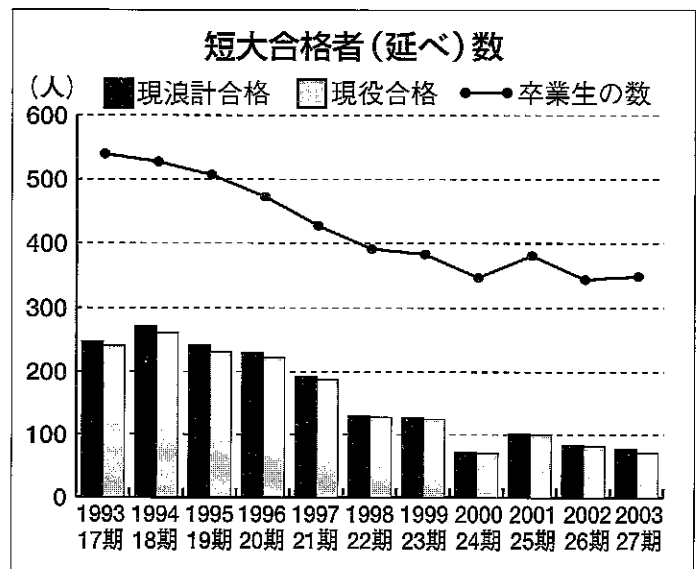
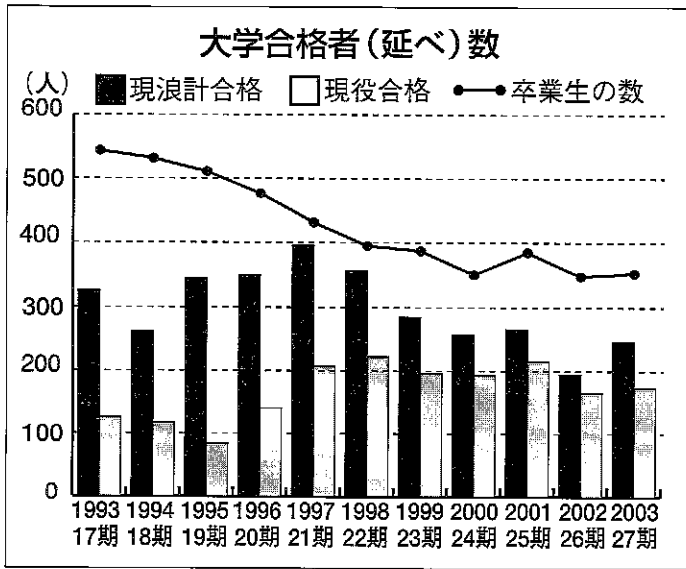
- 2-1 (模擬店) 全部さすぞ
- 2-2 (演劇) スーパー宇宙の惑星キニクの恐怖
- 2-3 (アトラクション) 恐怖の藤高
- 2-4 (アトラクション) 名探偵ゲーム
- 2-5 (模擬店) たこてら
- 2-6 (アトラクション) 盆で踊ろう
- 2-7 (アトラクション) 海体験
- 2-8 (模擬店) マルセド
- 2-9 (展示造形) 天王寺動物園



〈3-9 ソーラン節 2000-2000年への旅立ち〉



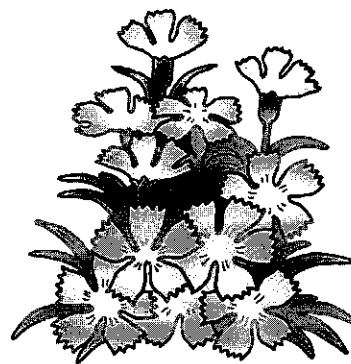
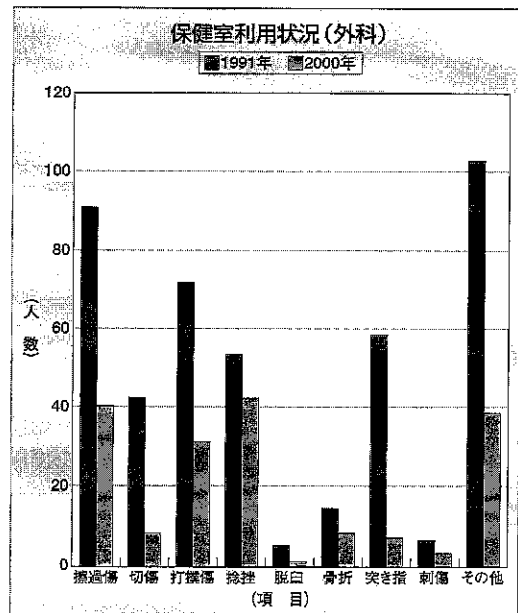
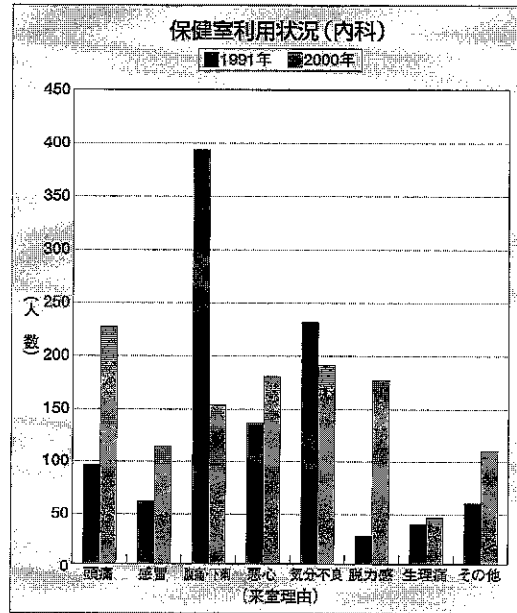
(2001年) バザー



保健室の利用状況は左記のグラフを見ていただきたい。  
11年前に比べると、外科的症狀で来室する生徒は半分以下である。これを、自己管理ができ怪我が少なくなったと見るよりは、生徒たちの活動内容が変わってきたためと見るのが妥当と思われる。動きが制限されたり、休憩時間に外で運動するというようなことが、少なくなってきているのかもしれない。それに比べ、内科的症狀で来室する生徒の数はあまり変化がない。ただ、訴えの内容は、大きく変わってきている。腹痛・下痢が極端に減少し、頭痛や脱力感といった不定愁訴を訴える生徒が明らかに増加している。現在の子どもたちを取り巻く環境の中で、精神的ストレスが高まってきているのだろうか。気になるところである。

月別で見ると、6月が一番利用者が多い。これは、フェス体という行事との関連性は否めない。また、梅雨の影響も多大に考えられる。うっとうしい梅雨の季節は、少なからず身体に影響していると思われる。また、曜日別では火曜日が多いが、これは、あながち曜日差があるとは思えない。なぜなら、最近の祝日の傾向で、月曜日が休日になる日が多いため、そのことを考慮に入れると、火曜日との差異がそれほどなくなるのではないかとと思われる。それでも、あえて考えられるとすれば、休み明けの月曜日より火曜日のほうが、少し、緊張感がなくなるのかもしれない。

学年男女別のグラフを見てみよう。どの学年も来室者の数では、男子より女子のほうが、上回っている。女性特有の症状もあるので、ある程度女子の方が多くなるとは考えられるが、2年生の女子が他学年に比べて差異が大きいのは、その学年女子の特質によるものと思われる。また、他学年に比べて2年生が多いのは、1年生は入学時の緊張感で入学当初の利用が少なく、3年生は入試や卒業で授業日が減るためだと考えられるが、学年の間で一番緊張感のない時期なのかもしれない。



**主なPTA活動の歩み**

PTAは1974年に結成され、発足した。  
1992年度までの活動については、20周年記念誌  
をご覧ください。

**1993年度以後のPTA活動****1. 文化活動**

## ◇広報活動

- ・1974年～ 「PTA名簿」 発行
- ・1975年～ PTA新聞「育友」  
年2回発行  
PTA通信「PTAだより」  
年1回発行
- ・テレホンサービス  
1989年～2003年実施  
2003年 廃止
- ・メールマガジン  
2003年 「藤高メルマガ」 発行  
月2回程度

## ◇講演会

- 1994年 中川武之氏・請田止幸氏・伏井信之氏  
(本校教諭)

## ◇研修会

- 1993年 神戸フルーツフラワーパーク  
・鉄斎美術館
- 1994年 近江「水郷めぐり」と「五個荘」自  
由散策
- 1995年 京都「嵯峨野めぐり」トロッコとラ  
ンアート
- 1996年 和歌山方面「道成寺」「角長醤油」「中  
野酒造」
- 1997年 アクア琵琶、寿長生の郷
- 1998年 明石海峡大橋、北淡町震災記念公園、  
パルシェ香りの館
- 1999年 大石神社、あこう展示館、歴史博物  
館、銀波荘
- 2000年 「亀岡から嵯峨野」トロッコ列車
- 2001年 ランチタイムコンサート(金九七郎  
先生 北浜「スカーラ」)
- 2002年 ランチタイムコンサート(西浦達雄  
氏 藤井寺市民会館)

## ◇PTA作品展

- 85～94年 会員作品展、実演コーナー  
95～02年 会員作品展、バザー、実演コーナー

## ◇PTA懇親会

- 1997年 グランドゴルフ

**2. 進路関係**

## ◇模擬試験

- 2002年実施

## ◇進路講演会

- 91～93年 本校進路部長：野口俊一氏  
94～96年 本校進路部長：中谷利春氏  
97～99年 本校進路部長：請田正幸氏  
00～02年 本校進路部長：内本雅之氏  
ECC予備校講師：山道博司氏

## ◇大学見学会

- 1996年 立命館大学、嵯峨美術大学  
1997年 摂南大学、関西外語大学・短大  
1998年 大阪工業大学・短大、大阪学院大学  
1999年 四天王寺国際仏教大、近畿大学  
2000年 摂南大学、関西外語大学・短大

**3. 本校創立20周年記念事業**

- 1993年 創立20周年記念式典、記念誌発行に協力  
1996年 同窓会20周年記念式典、記念新聞発行

**年間の主なPTA事業(2002年度)**

2002年

- 4月 (入学式) 実行委員会  
「PTAだより」発行  
新役員会、会計監査、新実行委員会、新旧  
実行委員会学級委員選出
- 5月 定例PTA総会  
3年PTA集会(進路講演会)
- 6月 学級委員総会(学年委員会・実行委員会)  
第7ブロック PTA協議会総会
- 7月 PTA新聞「育友」発行
- 8月 3年学習合宿
- 9月 藤高フェスティバル「文化の部」  
PTA作品展&バザー
- 10月 PTA進路講演会  
1年・2年PTA集会
- 11月 PTA研修会(ランチタイムコンサート)  
役員会・実行委員会
- 2003年
- 2月 PTA新聞「育友」発行
- 3月 海外交流研修(生徒)  
テレホンサービス停止

**同窓会**

- ◇名 称 大阪府立藤井寺高校同窓会  
◇発 足 1977年(昭和52年)4月1日  
◇会員数 13,461名(1期～27期卒業生)  
1993年度以後の主な行事・事業経過

## ○「全同窓会員名簿」

第3号1996年(平成8年)発行

## ○各期「同窓会員名簿」(卒業年度)

1期(1977年 昭和52年)～26期(2003年 平成15年)  
の各卒業年度の8月に発行

## ○母校創立20周年記念事業(1993年 平成5年)

## ○母校創立30周年記念事業(2003年 平成15年)

記念事業資金贈呈(記念式典、記念品、文化事業、  
祝賀会等)

**体験入学**

- 1998年度～2003年度毎年9月に実施  
2003年度の参加中学生数は803名

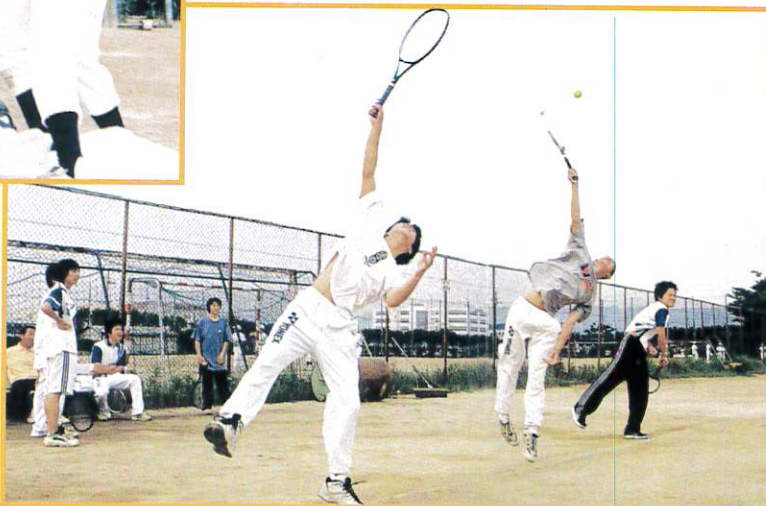
**卒業式**

- 1999年度(24期生)～2002年度(27期生)  
対面式で実施

●硬式野球部



●硬式テニス部



●ソフトテニス部



1999年度	大阪春季大会 団体戦	ブロック予選	優勝	田中・玉利組
	大阪総体 団体戦	ブロック予選	優勝	山田・帰山組
	大阪春季大会 個人戦	ブロック予選	優勝	吉田・山岡組
			準優勝	山田・山本組
			3位	森川・大星組
	大阪総体 個人戦	ブロック予選	優勝	山田・山本組
	大阪公立大会 個人戦	ブロック予選	準優勝	森川・大星組
			優勝	山田・山本組
			3位	慎・石橋組
	大阪公立大会 新人戦	ブロック予選	準優勝	山田・山本組
			3位	森川・大星組
2000年度	近畿大会出場			
	大阪公立大会		5位	
	大阪公立大会個人戦	ブロック予選	優勝	慎・土生田組
			2位	福田・山本組
			3位	宮内・石橋組
			5位	
2001年度	大阪総体 団体戦		大阪	
	近畿大会出場			
	大阪公立大会予選		3位	大西・迫組
	新人戦	ブロック予選	準優勝	大西・迫組
			3位	上野・宇野組
			3位	小田・吉田組
	大阪総合体育大会 団体戦			
		ブロック予選	準優勝	
2002年度	大阪総合体育大会	ブロック予選	準優勝	新田・河本組
	大阪公立大会	ブロック予選	2位	小田・吉田組
	大阪新人戦	ブロック予選	優勝	新田・河本組
			準優勝	
			5位	
	近畿公立インドア大会		優勝	大崎・森田組
	大阪ウィンターカップ		優勝	
	大阪公立大会団体戦	大阪	準優勝	
2003年度	大阪春季大会個人戦	ブロック予選	優勝	小田・吉田組
			準優勝	新田・河本組
			3位	大崎・森田組

1996年度	大阪春季大会	ブロック予選	5位	上田・森脇組
	大阪総体	ブロック予選	5位	三浦・吉岡組
1997年度	大阪総体	ブロック予選	3位	小谷・細川組
			7位	神宮・数中組
	大阪公立大会	ブロック予選	優勝	岩崎・帰山組
			3位	小谷・細川組
				神宮・数中組
	大阪総体 団体戦	ブロック予選	3位	
	新人大会	ブロック予選	準優勝	小谷・細川組
			5位	神宮・数中組
			6位	吉田・玉利組
			7位	岩崎・帰山組
1998年度	大阪春季大会 団体戦	大阪	10位	
	近畿大会		2回戦	
	大阪総体 団体戦	ブロック予選	優勝	田中・玉利組
	大阪公立大会 個人戦		2位	岩崎・帰山組
			5位	田中・玉利組
	大阪公立大会 新人戦	ブロック予選	優勝	田中・玉利組
			準優勝	吉田・吉村組
			3位	岩崎・帰山組

SPORTS



●ソフトボール部

●サッカー部



●ラグビー部

2001年6月 10人制7学区大会 優勝  
 11月 10人制大阪府大会 準優勝  
 2002年6月 10人制7学区大会 優勝



●女子ハンドボール部



●フォークソング部



●コンピューター同好会



●現代音楽研究部

- 1995年 We are Sneaker Ages' 95  
優秀校賞受賞ーベスト16に選ばれる  
グランプリ大会出場
- 1996年 We are Sneaker Ages' 96  
優秀校賞受賞ーベスト16に選ばれる  
グランプリ大会出場
- 1997年 We are Sneaker Ages' 97  
優秀校賞受賞ーベスト18に選ばれる  
グランプリ大会にて特別賞受賞  
藤井寺市社会福祉協議会主催“ふくしまつり”  
に手話ロックバンド“シャンデ”と共にボラン  
ティア出演
- 1999年 We are Sneaker Ages' 99  
優秀校賞受賞ーベスト16に選ばれる  
グランプリ大会出場
- 2001年 We are Sneaker Ages' 01  
優秀校賞受賞ーベスト17に選ばれる  
グランプリ大会出場  
大阪市主催 ライブ出演
- 2002年 We are Sneaker Ages' 02  
優秀校賞 受賞ーベスト18に選ばれる  
グランプリ大会出場  
松原市主催 クリスマスライブ出場



# Fujiidera High School 30th Anniversary

## CULTURE



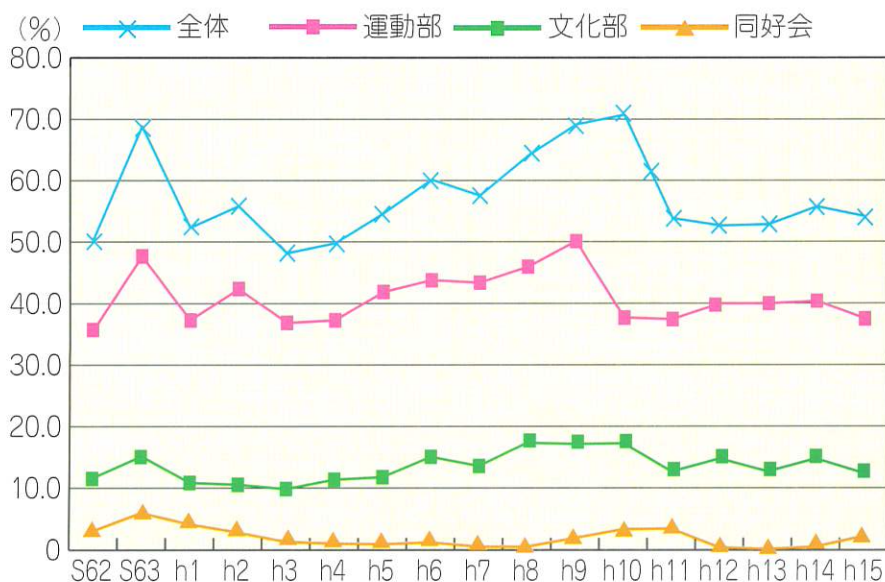
●箏曲部



●美術部

- 1996年 全大阪高等学校美術工芸展  
奨励賞 森井 恵子
- 1997年 第7学区高等学校美術工芸展  
研究会賞 成松 駿介
- 1998年 全大阪高等学校美術工芸展  
クラブ活動奨励賞 松宮 美喜
- 1999年 全大阪高等学校美術工芸展  
優秀賞 松村 真子  
第7学区高等学校美術工芸展  
クラブ奨励賞 新井 優希
- 2001年 第7学区高等学校美術工芸展  
優秀賞 松村 真子  
美術工芸研究会賞 古本加奈子  
クラブ奨励賞 中 啓子

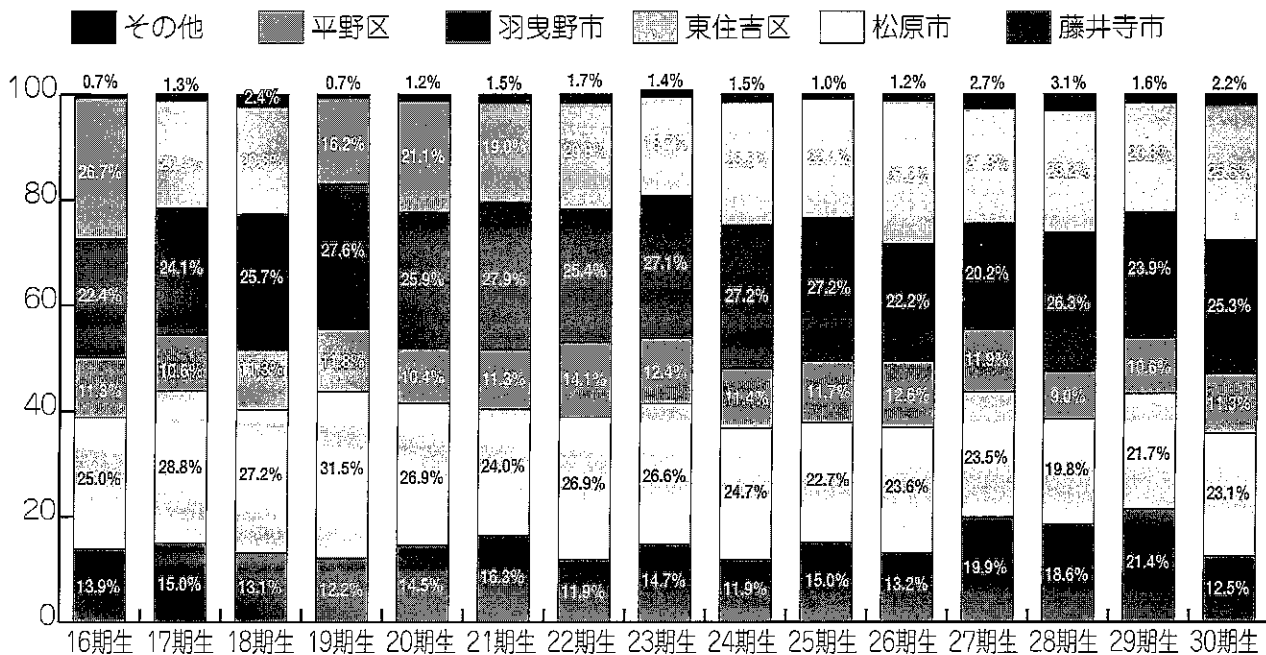
### 部活動加入率変遷のグラフ



	文化部	運動部	同好会	全体
昭和62年度	11.7%	35.8%	3.1%	50.6%
昭和63年度	15.2%	47.7%	6.0%	68.9%
平成1年度	10.9%	37.3%	4.2%	52.4%
平成2年度	10.6%	42.4%	2.9%	55.9%
平成3年度	9.9%	36.9%	1.4%	48.2%
平成4年度	11.4%	37.3%	1.1%	49.8%
平成5年度	11.8%	41.9%	1.0%	54.7%
平成6年度	15.1%	43.8%	1.3%	60.2%
平成7年度	13.6%	43.4%	0.6%	57.6%
平成8年度	17.4%	46.1%	0.6%	64.1%
平成9年度	17.2%	50.0%	2.0%	69.2%
平成10年度	17.3%	50.1%	3.4%	70.8%
平成11年度	12.7%	37.7%	3.5%	53.9%
平成12年度	14.8%	37.4%	0.5%	52.7%
平成13年度	12.7%	40.0%	0.2%	52.9%
平成14年度	14.8%	40.4%	0.6%	55.8%
平成15年度	12.4%	37.5%	2.3%	54.2%

# 卒業生記念品一覧

期	卒業年月	記念品名
1 期生	1977年(S52)2月	大王松(1本)、桜(1本)、ベンチ(10脚)、絵画(1点)
2 期生	1978年(S53)2月	楠(1本)、椎(4本)、花瓶(1点)、図書
3 期生	1979年(S54)2月	唐しゅろ、ビデオテープ録音装置、図書
4 期生	1980年(S55)2月	蘇鉄一式、8mm映写機、スライドプロジェクター、図書
5 期生	1981年(S56)2月	フェニックス式、パーソナルコンピューター及びディスク、ベンチ(10脚)、図書
6 期生	1982年(S57)2月	フェニックス式、パーソナルコンピューター、図書
7 期生	1983年(S58)2月	フェニックス式、食堂前テント式、図書
8 期生	1984年(S59)2月	藤棚(運動場)、黒板消クリーナー
9 期生	1985年(S60)2月	スチールベンチ
10 期生	1986年(S61)2月	楠、図書
11 期生	1987年(S62)2月	パーソナルコンピューター(PC9801一式)
12 期生	1988年(S63)2月	パーソナルコンピューター(PC9801一式)、欒(1本)
13 期生	1989年(H元)2月	陳列戸棚、校内案内掲示板
14 期生	1990年(H2)2月	カラーテント(3張)
15 期生	1991年(H3)2月	和太鼓(2台)
16 期生	1992年(H4)2月	花水木(3本)、ベンチ(3脚)、ウォータークーラー(3台)
17 期生	1993年(H5)2月	黒板消クリーナー、ウォータークーラー(4台)
18 期生	1994年(H6)2月	パーソナルコンピューター、ディスプレイ、プリンタ、パソコンラック各1台
19 期生	1995年(H7)2月	体育館舞台幕(後幕2、横幕4、かすみ幕1、中幕2)
20 期生	1996年(H8)2月	体育館舞台幕(一文字幕1、袖幕2、前幕2、 Horizont幕1)
21 期生	1997年(H9)2月	ビデオプロジェクター1台、鉄骨組立天幕1張
22 期生	1998年(H10)2月	ピンスポットライト2台(舞台照明用)
23 期生	1999年(H11)2月	鉄骨組立天幕5張
24 期生	2000年(H12)2月	パーソナルコンピューターPerformance600 1台
25 期生	2001年(H13)2月	データプロジェクター一式、スクリーン
26 期生	2002年(H14)2月	体育館放送音響装置一式
27 期生	2003年(H15)2月	テント3張、物置1基



# 歴代同窓会役員

〈名誉会長〉は各期の学校長が兼ねる ○内の数字は書く期を表す

年度	会長	副会長	書記	会計	会計監査	名誉顧問
1977 (52)	森 博史①	大西 寛征①	吉川 博之①	大柳 正章①	中野 智子①	森田 敏夫(初代校長) 山本 義一(初代PTA会長)
1978 1979				岡田 登子①	山本 裕①	森田 敏夫 山本 義一 辻本 義一(2代PTA会長) 広嶋昭三郎(3代PTA会長)
1980 (55)		北口 佳弘①	森川 雅夫①	大柳 正章①	中野 智子① 若林 和博②	森田 敏夫 山本 義一 辻本 義一 広嶋昭三郎
1981 (56)				吉川 博之① 北浦智代子③	竹沢 照美②	中野 智子① 橋本 勝司④
1982 (57)	若林 和博②	大西 寛征①	吉川 博之①	大柳 正章①	橋本 勝司④	森田 敏夫 森 博史 高田 昌亮(5代PTA会長)
1983 (58)		池田 勝彦②	竹沢 照美②	北浦智代子③	田部 保夫⑤	森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄(3代校長) 杉本 邦男(6代PTA会長)
1983 (58)	〈会長〉 若林 和博② 〈書記〉 北浦智代子③ 〈会計〉 竹沢 照美② 〈会計監査〉 橋本 勝司④ 〈庶務〉 大杉茂之⑦ 谷口彰紀⑦ 林田辰巳⑦ 内本京子⑦ 坂下由紀⑦	〈副会長〉 吉川 博之① 池田 勝彦②	田中 浩③ 鬼追 忍④ 曾我 友香⑥			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 笠原 純英(7代PTA会長)
1984 (59)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 北浦智代子③ 〈会計〉 的場世志子② 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 林田 辰巳⑦ 〈運営委員〉 光岡 勉⑧ 〈常任幹事長〉 村治 強② 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 谷口 彰紀⑦ 坂下 由紀⑦	大杉 茂之⑦ 内本 京子⑦ 松本(大柳)正章① 松浦 昭彦①			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 喜多 啓介(8代PTA会長)
1985 (60)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 北浦智代子③ 〈会計〉 的場世志子② 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 林田 辰巳⑦ 〈運営委員〉 光岡 勉⑧ 〈常任幹事長〉 村治 強② 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 谷口 彰紀⑦ 坂下 由紀⑦	大杉 茂之⑦ 内本 京子⑦ 松本(大柳)正章① 松浦 昭彦①			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 山田 忠雄(3代校長) 杉本 邦男(6代PTA会長)
1986 (61)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 北浦智代子③ 〈会計〉 的場世志子② 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 林田 辰巳⑦ 〈運営委員〉 光岡 勉⑧ 〈常任幹事長〉 村治 強② 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 谷口 彰紀⑦ 坂下 由紀⑦	大杉 茂之⑦ 内本 京子⑦ 松本(大柳)正章① 松浦 昭彦①			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 山田 忠雄(3代校長) 杉本 邦男(6代PTA会長)
1987 (62)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 北浦智代子③ 〈会計〉 的場世志子② 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 林田 辰巳⑦ 〈運営委員〉 光岡 勉⑧ 〈常任幹事長〉 村治 強② 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 谷口 彰紀⑦ 坂下 由紀⑦	大杉 茂之⑦ 内本 京子⑦ 松本(大柳)正章① 松浦 昭彦①			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 山田 忠雄(3代校長) 杉本 邦男(6代PTA会長)
1988 (63)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 北浦智代子③ 〈会計〉 的場世志子② 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 林田 辰巳⑦ 〈運営委員〉 光岡 勉⑧ 〈常任幹事長〉 村治 強② 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 谷口 彰紀⑦ 坂下 由紀⑦	大杉 茂之⑦ 内本 京子⑦ 松本(大柳)正章① 松浦 昭彦①			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 山田 忠雄(3代校長) 杉本 邦男(6代PTA会長)
1989 (元)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 北浦智代子③ 〈会計〉 的場世志子② 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 林田 辰巳⑦ 〈運営委員〉 光岡 勉⑧ 〈常任幹事長〉 村治 強② 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 谷口 彰紀⑦ 坂下 由紀⑦	大杉 茂之⑦ 内本 京子⑦ 松本(大柳)正章① 松浦 昭彦①			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 山田 忠雄(3代校長) 杉本 邦男(6代PTA会長)
1990 (2)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 北浦智代子③ 〈会計〉 的場世志子② 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 林田 辰巳⑦ 〈運営委員〉 光岡 勉⑧ 〈常任幹事長〉 村治 強② 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 谷口 彰紀⑦ 坂下 由紀⑦	大杉 茂之⑦ 内本 京子⑦ 松本(大柳)正章① 松浦 昭彦①			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 山田 忠雄(3代校長) 杉本 邦男(6代PTA会長)
1991 (3)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 山下 真弘④ 〈会計〉 西本 善之⑨ 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 福島 治⑧ 〈運営委員〉 広嶋 禎教⑤ 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨	松本(大柳)正章① 松浦 昭彦① 斎藤 勝明⑬ 田仲 基一⑦			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 宮村喜志男(14代PTA会長)
1992 (4)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 山下 真弘④ 〈会計〉 西本 善之⑨ 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 福島 治⑧ 〈運営委員〉 広嶋 禎教⑤ 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨	松本(大柳)正章① 松浦 昭彦① 斎藤 勝明⑬ 田仲 基一⑦			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 田中 勝(15代PTA会長)
1993 (5)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 山下 真弘④ 〈会計〉 西本 善之⑨ 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 福島 治⑧ 〈運営委員〉 広嶋 禎教⑤ 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨	松本(大柳)正章① 松浦 昭彦① 斎藤 勝明⑬ 田仲 基一⑦			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 松村 正勝(16代PTA会長)
1994 (6)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 山下 真弘④ 〈会計〉 西本 善之⑨ 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 福島 治⑧ 〈運営委員〉 広嶋 禎教⑤ 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨	松本(大柳)正章① 松浦 昭彦① 斎藤 勝明⑬ 田仲 基一⑦			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 中島 茂夫(17代PTA会長)
1995 (7)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 山下 真弘④ 〈会計〉 西本 善之⑨ 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 福島 治⑧ 〈運営委員〉 広嶋 禎教⑤ 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨	松本(大柳)正章① 松浦 昭彦① 斎藤 勝明⑬ 田仲 基一⑦			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 前田 良一(18代PTA会長)
1996 (8)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 山下 真弘④ 〈会計〉 西本 善之⑨ 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 福島 治⑧ 〈運営委員〉 広嶋 禎教⑤ 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨	松本(大柳)正章① 松浦 昭彦① 斎藤 勝明⑬ 田仲 基一⑦			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 小池 実晴(19代PTA会長)
1997 (9)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 山下 真弘④ 〈会計〉 西本 善之⑨ 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 福島 治⑧ 〈運営委員〉 広嶋 禎教⑤ 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨	松本(大柳)正章① 松浦 昭彦① 斎藤 勝明⑬ 田仲 基一⑦			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 小池 実晴(19代PTA会長)
1998 (10)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 山下 真弘④ 〈会計〉 西本 善之⑨ 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 福島 治⑧ 〈運営委員〉 広嶋 禎教⑤ 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨	松本(大柳)正章① 松浦 昭彦① 斎藤 勝明⑬ 田仲 基一⑦			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 内藤 広治(21代PTA会長)
1999 (11)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 山下 真弘④ 〈会計〉 西本 善之⑨ 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 福島 治⑧ 〈運営委員〉 広嶋 禎教⑤ 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨	松本(大柳)正章① 松浦 昭彦① 斎藤 勝明⑬ 田仲 基一⑦			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 内藤 広治(21代PTA会長)
2000 (12)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 山下 真弘④ 〈会計〉 西本 善之⑨ 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 福島 治⑧ 〈運営委員〉 広嶋 禎教⑤ 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨	松本(大柳)正章① 松浦 昭彦① 斎藤 勝明⑬ 田仲 基一⑦			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 森井 久夫 中川 義英(22代PTA会長)
2001 (13)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 山下 真弘④ 〈会計〉 西本 善之⑨ 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 福島 治⑧ 〈運営委員〉 広嶋 禎教⑤ 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨	松本(大柳)正章① 松浦 昭彦① 斎藤 勝明⑬ 田仲 基一⑦			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 森井 久夫 中野 尚 杉田 良(23代PTA会長)
2002 (14)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 山下 真弘④ 〈会計〉 西本 善之⑨ 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 福島 治⑧ 〈運営委員〉 広嶋 禎教⑤ 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨	松本(大柳)正章① 松浦 昭彦① 斎藤 勝明⑬ 田仲 基一⑦			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 森井 久夫 中野 尚 杉田 良(23代PTA会長)
2003 (15)	〈会長〉 若林 和博② 〈副会長〉 池田 勝彦② 〈書記〉 山下 真弘④ 〈会計〉 西本 善之⑨ 〈理事〉 吉川 博之① 〈監事〉 福島 治⑧ 〈運営委員〉 広嶋 禎教⑤ 〈会計監査〉 橋本 勝司④	稲垣 勝② 田中 浩③ 渡辺 俊一⑤ 金丸 佳子⑨	松本(大柳)正章① 松浦 昭彦① 斎藤 勝明⑬ 田仲 基一⑦			森田 敏夫 森 博史 山田 忠雄 市橋平三郎 清水 正樹 油上 良蔵 森井 久夫 中野 尚 杉田 良(23代PTA会長)

## 〈顧問(職員)〉

寺本 勉(1976(準備)・81~94) 渡辺謙二(1976(準備)・77 斎藤 博(1977~9) 小川 勇(1977~82) 石香 亨(1977) 杉町直之(1978)  
 瀬戸勝巳(1978・9・81~3・6) 武田 章(1978) 田中靖二(1979) 南 武夫(1979) 高島弘章(1979・80) 井上悦男(1980~3) 富賀 肇(1980~4)  
 浅野とも子(1980) 森井久夫(1980) 阿形恒秀(1983) 山田忠雄(1984) 山田慶次(1984) 松井 潔(1984~8) 長尾良弘(1985・89・90)  
 御堂孝和(1985) 杉田有史(1986) 吉田正博(1987) 川村高明(1988・93) 福田貴穂(1989) 緒方 正(1990~2) 木村好孝(1991~5・2001~2)  
 光田藤一(1991) 内田吉彦(1992) 谷口 光夫(1993~6) 香川義憲(1994~96) 米田けさ子(1996) 松浦紀彦(1996~2000) 角谷修治(1997)  
 船井嘉彦(1997) 藤原安博(1997) 吉田正博(1998~99) 関本幸子(2000) 永田禎一(2001) 阪本百合子(2003) 古川友子(2003)

	会 長	副 会 長	書 記	会 計	会計監査	企画委員長	企画副委員長	1年委員長	1年副委員長
						文化委員長	文化副委員長	2年委員長	2年副委員長
						進路委員長	進路副委員長	3年委員長	3年副委員長
1989 (H元)	原尾毅一郎	森清悦 佑 辻本 勇 鈴木フサ子	西本 嘉次 寺本 勉	増田 瑞穂 福田 貴穂	笠井 勝巳 炭本 幸子 国本 勝三	長瀬 幸子 湯町 澄子 神田 豊澄	中林よし子 榊本 延子 矢戸 平子	宮村喜志男 佐々木 環 寺内 寿子	竹元喜代美 根岸 征子 井本 雅代
1990 (H2)	原尾毅一郎	西本 嘉次 宮村喜志男 湯町 澄子	佐々木 環 寺本 勉	中川 浩哉 福田 貴穂	神田 豊澄 津野 輝夫 根岸 征子	中林よし子 竹元喜代美 長谷川一郎	富永 武子 林 美佐子 神尾 芳美	田中 勝 田積 明子 矢戸 平子	福森美代子 山下 暁美 白樫喜美子
1991 (H3)	宮村喜志男	神田 豊澄 田中 勝 福森美代子	津野 久江 木村 好孝	田積 明子 福田 貴穂	松村 正勝 竹元喜代美 富永 武子	長谷川一郎 三宅 郁子 塚本 照子	飯田 文子 房谷紀美子 山下 幸美	萩野 秀雄 神尾 秀美 山下 暁美	中元 和子 野中留美子 土本 初恵
1992 (H4)	田中 勝	長谷川一郎 福森美代子 池本 義雄	萩野 秀雄 木村 好孝	津野 久江 福田 貴穂	神尾 茂美 飯田 文子 松村 正勝	中元 和子 佃 富枝 山下 幸美	大竹由美子 安木 素子 細木紀美子	大崎 武史 塚本 照子 野中留美子	荒木実千代 蔵元 芳子 辻井須美子
1993 (H5)	松村 正勝	中元 和子 大崎 武史 中島 武夫	塚本 照子 木村 好孝	安木 素子 福田 貴穂	池本 義雄 大竹由美子 上善 嶺治	山谷 庄導 南野 紀子 細木紀美子	山下友紀子 上山 京子 西矢 正子	林 恵一 荒木実千代 蔵元 芳子	新熊みどり 佐藤寿美子 山下 幸美
1994 (H6)	中島 茂夫	荒木実千代 山谷 庄 前田 良一	細木紀美子 香川 義憲	佐藤寿美子 福田 貴穂	池本 義男 南野 紀子 西矢 正子	新熊みどり 上善 佳子 古谷 充康	林 知子 齊藤 映子 小池よし子	奥須賀 豊 石田 定裕 山下友紀子	酒井ひとみ 入江 英子 小山美知子
1995 (H7)	前田 良一	上善 佳子 石田 定裕 奥須賀 豊	入江 英子 香川 義憲	小池よし子 近藤 利弘	中島 茂夫 新熊みどり 西矢 正子	林 知子 酒井ひとみ 田中美津子	森口 正子 西村三枝子 湯浅 佳代	小池 貴子 本浄 和子 田中真由美	土肥佐代子 皆村 洋子 黒磯裕美子
1996 (H8)	小池 実晴	皆村 洋子 田中 好秀 内藤 広治	林 知子 香川 義憲	西村三枝子 近藤 利弘	酒井ひとみ 本浄 和子 仲川 正明	森口 正子 嶋田弥寿代 植野 光郎	千葉 明美 加藤 典子 田井 恵子	坂本千鶴子 宮腰 繁子 湯浅 佳代	中島さがみ 土肥佳代子 大栗扶美子
1997 (H9)	田中 好秀	宮腰 繁子 内藤 広治 植野 光郎	森口 正子 松浦 紀彦	土肥佐代子 近藤 利弘	小池 実晴 坂本千鶴子 中川 義英	千葉 明美 加藤 典子 仲川 正明	竹本 頼子 甲村 栄子 石原 節子	宮崎 俊一 中島さがみ 田井 恵子	山崎美代子 谷本 照子 太田 弘子
1998 (H10)	内藤 広治	植野 光郎 宮崎 俊一 坂本千鶴子	中島さがみ 松浦 紀彦	谷本 照子 近藤 利弘	石原 節子 久本 隆治 杉田 良	竹本 頼子 甲村 栄子 中川 義英	井上千鶴子 福田理栄子 菊田 敏子	東 千恵子 山崎美代子 平山美恵子	松本 純明 村上 雅子 井上千鶴子 小谷 佳子
1999 (H11)	中川 義英	杉田 良 松本 純明 東 千恵子	福田理栄子 松浦 紀彦	山崎美代子 近藤 利弘	竹本 頼子 浅島 直美 白樫真智子	井上千鶴子 森 明美 矢野 耕治	大島 梅代 松生 悦子 池田貴代美	北浦 愛子 村上 雅子 村上真知子	松内千加子 高尾 文子 菊田 敏子
2000 (H12)	杉田 良	松本 純明 矢野 耕治 白樫真智子	高尾 文子 三村 信二	村上 雅子 近藤 利弘	阿部 豊 稲垣 秀司 松田加代子	池田貴代美 松生 悦子 浅島 央司	尾崎 照美 古本 照美 横谷 博子	米倉久美子 北浦 愛子 大島 梅代	和田美智子 松内千加子 森 明美
	会 長	副 会 長	書 記	会 計	会計監査	企画委員長	企画副委員長	1年委員長	1年副委員長
						文化委員長	文化副委員長	2年委員長	2年副委員長
						進路委員長	進路副委員長	3年委員長	3年副委員長
						広報委員長	広報副委員長		
2001 (H13)	矢野 耕治	浅島 央司 阿部 豊 稲垣 秀司 松内千加子	古本 照美 三村 信二	和田美智子 小山 昭子	出口 正広 更屋 美房 堀中 鈴江	塩津 奈美 横谷 博子 土師 五月 北浦 愛子	吉田 徳子	小松崎咲子 川谷さつき 木原 勝子	
2002 (H14)	阿部 豊	稲垣 秀司 和出美智子 出口 正広	尾崎 照美 三村 信二	米倉久美子 小山 昭子	宮下 博敏 松田加代子 高濱 康子	松岡 純 伊賀川さとみ 田頭 有里 西川 京美	塩津 奈美 中川維久子 大山 悦子	徳岡由美子 更屋 美房 川谷さつき	高木 公子 藤田 君子 枇杷田千代子
2003 (H15)	出口 正広	宮下 博敏 北尾 護 和田美智子	尾崎 照美 米澤 興治	松田加代子 植本 宇一	伊東 宏 粟津 香月 藤田 博史	濃野みつる 北川 朝美 更屋 美房 大山 悦子	石井真理子 中川維久子 野田三重子	大島 初子 徳岡由美子 西川 京美	大塚 初穂 高濱 康子 藤田 君子

## 《文科系部活動 2003(H15)年現在》

- 吹奏楽 [1977~] 朝山(8) 長尾(12) 橋本章(4) 木島(10) 鳥越(2) 光田 鈴木(3) 伊藤(8) 金丸 平岡(11) 内本(12)  
奥田 坂口(2) 西村(2) 藤原(4) 冠木(2) 鈴木(2) 西野(2) 坂本(5) 篠本 松本 伏井 川口千 秦 村田(3) 塩野  
中村(2) 安本 岩本
- 美術 [1975~] 寺本(20) 長谷川 瀬戸(4) 原園 詫間(9) 雨堤(3) 原 松浦紀(10) 岡本(3) 奥田 田原伸(2)  
田中由 藤井 塩田(7) 岡田正 詫間 吉田良(8) 大川原(3) 十河(2) 木田(2) 杉本 妻谷 植田(5) 齋部(2)  
篠本(4) 石川(3) 松田(2) 川口恭
- フォークソング [1975-79~] 川中 西田 矢野 名村 大野 木島(3) 村上晃 前田美(6) 別所(6) 坂本 早川 大塚信(2)  
鈴木 内本 中坂(2) 岡田正(10) 阿形(3) 磯野(3) 吉田正博 佐藤 大川原 橋本保(6) 鳥越(2) 杉野(5) 橋原(2)  
森安(5) 請田 岩本(2) 柏木(3) 吉田正弘 杉本 吉元 鈴木 永田 織田
- ESS [1992~] 吉田淑(2) 杉本(11) 大塚明 増田(3) 孝橋 雨堤 小西 請田 冠木 長(2) 船井(3) 大村 青山(3)  
内海(2) 坂口(2) 川口千 ジェームス(2) 永田 西澤
- 英文タイプ [1977~91] 小松(2) 瀬戸(6) 辻(6) 辰巳 山田慶(5) 丸田 古田 杉本(2) 雨堤(3) 妻谷(2) 増田 吉田淑  
ESS [1977~79-83~91] 山本泰(3) 吉田淑(6) 山本陽(3) 杉本(3) 大塚明
- 漫画・アニメ研究 [1993~] 吉川(4) 林(2) 請田 服部(3) 大川原 川村(2) 渡辺(2) 藤井 松本貴(3) 妻谷 伏井(4)  
中川洋(2) 橋本保 内海(2) 塩野(3) 米澤(3) 中村 八木沼(3) 岸田 岡田悦 齋部(2)
- 漫画研究 [1978~] 仲谷(8) 大屋 渡辺謙(6) 増田(6) 加賀(2) 吉田正博 小川勇 大塚信 光田(2) 吉川(3) 田原久 野口  
松井治 大野 藤井
- アニメ研 [1985-88~92] 村上晃 荒瀬 大野(4) 小川勇(2) 服部(3) 田中由 鈴木 橋原(2) 渡辺武
- 放送 [1976~] 山田博(8) 杉町(7) 増田(2) 雨堤 香川(7) 平山 来住(2) 長(6) 内本(2) 中川洋 坂上(6) 内田(3)  
三輪(4) 橋本保(6) 香川(4) 冠木(2) 河内(9) 中谷(9) 齋部(2) 米澤(4) 中川武(2) 吉田良(3) 岩本
- 茶道 [1977-80~] 松井美(8) 藤本(4) 原園 帯刀(3) 浅野と(2) 板倉(3) 岸本 稲田(12) 木島(2) 吉元(4) 米田(7)  
黒田(5) 井上(10) 北山(6) 奥田(3) 加藤(2) 古川(5) 山口(4) 金丸(3)
- 現代音楽研究 [1979~] 中川一(4) 田中道(10) 藤本(5) 早川 中川輝(12) 中島(4) 冠木 関本(8) 伊藤(5) 中須賀  
渡辺武 坂上 磯野(4) 秦(3) 永田(5) 金丸(2) 大川原(4) 伏井(2) 鈴木 内海(4) 森山(2) 十河(3) 岡田悦(2) 吉村
- ボランティア [1983~] 赤塚(2) 房本(8) 福西(3) 阿形(2) 光田(2) 中須賀(6) 内本(3) 辻本 森安(6) 岡本 中川洋(8)  
中島 大村 木田(7) 村田 廣田 小関(2) 森山(6) 関本 小川 柏木 中村 石村 藤原 大橋(2) 岡田悦 牧野 乾
- 箏曲 [1977-88~] 原園 板倉(2) 田中有(6) 大塚信(2) 北山(3) 雨堤 中川武(10) 菊田(2) 三輪(2) 岩橋 船井  
田中有(4) 山口(5) 金丸 筒井(5) 平松 石川(2) 尾方 小林(3) 三村(2)
- 書道 [1995~] 西野(3) 湯浅(3) 山田 塩野(5) 服部 角谷(7) 大村(6) 村田(2) 廣田(3) 十河(2) 仲村(2) 阪上  
書道同好会 [1980~87-92~94] 来住(9) 浅野(3) 末広 原園 鳥越 杉田真(3) 西野(3) 米田 田中由(2) 塩野(3)  
湯浅(3) 奥田(2) 服部
- コンピューター [2000~] 伏井 米澤(3) 森山(4) 吉田正弘(3) 岸田 藤原  
コンピューターサークル [1998~] 伏井(2)

## 《同好会・サークル活動・2003(H15)年現在》

地学 [2003~] 森山 鈴木 釣り [2003~] 八木沼 米澤

## 《2003(H15)年現在、活動していない部・同好会・サークル》

- 【軽音楽 [1974~78]】佐竹 長尾(4) 長谷川 垣崎(2) 【手芸 [1974~78]】黒田(5) 浅野と 藤本
- 【部落研究 [1974~81]】平山(3) 赤塚(2) 村上広(2)
- 【写真 [1974~91]】森井(10) 伊賀崎(2) 杉町(3) 福西 筒井完(7) 来住(4) 木村 三輪(2) 谷口 河内 橋本保
- 【演劇 [1974~2001]】辻(6) 香川(9) 渡邊和(7) 垣崎 山本陽(2) 藤本(2) 渡辺謙(2) 市口(5) 吉元(14) 田島  
関本(2) 中島洋 野口(2) 吉田正博(7) 阪本(6) 田原久 中川洋 伏井(2) 長 坂口(3) 請田(3) 三村(3)
- 【文芸 [1975~82]】藤本(2) 名村(6) 荒瀬 松井美(5) 渡辺謙(2)
- 【地歴研究 [1975~77-79~96]】橋本九(2) 畑部 富賀(6) 平山(6) 筒井完 村上晃(4) 松下 松本正(9) 齋藤 佐藤  
川村(4) 小川勇(3) 小西(6) 請田(3) 浅井 詫間 冠木(2) 西村 田原 岡田正
- 【コーラスサークル [1975~88-92~97]】森井(7) 長尾(10) 矢野 前田美 雨堤(6) 甲斐 木島 中須賀 橋本保(2)  
金丸(6) 関本(2) 河内(3) 阪本(2) 黒田
- 【囲碁 [1977]】辰巳 【ロック音楽鑑賞 [1977]】中川一 【園芸 [1977]】石香 【古典研究 [1977]】深谷 藤本
- 【将棋 [1977]】香川 橋本章 【英語研究 [1977~78]】名村 奥田康 杉町 【鉄道旅行研究 [1977-78]】長(2)
- 【映画研究 [1977~79]】雨堤 松尾(2) 【数学研究 [1977~79]】松尾(2) 大屋 橋本章 藪野 川上
- 【華道 [1977~81-83~92]】北村玲(2) 前田美(3) 辻 原園 大野(9) 米田(6) 帯刀(3) 奥田(2) 西野(2) 杉田真  
塩田(2) 雨堤 伏井
- 【科学研究 [1978]】富賀 【化学研究 [1979]】山田忠 【生物 [1980~83]】福西(4)
- 【新聞 [1980~87]】名村(4) 山田博(2) 阿形(7) 赤塚 光田(3)
- 【PEC:マイコン [1981~95]】川上(6) 橋本章(3) 神屋(5) 内田 高松(3) 松浦紀(3) 杉田有 武市(6) 渡辺武(2)  
伊藤(2) 中坂 中川洋 北山(2) 山口(2) 田原伸(2) 鳥越(2) 川村(2)
- 【IBC [1982~83]】大野(2) 【料理研究 [1982~83]】帯刀 青谷 吉田淑
- 【囲碁将棋 [1983~87]】橋本章(4) 筒井完(2) 御堂 辰巳 三輪(2) 村上寛(2)
- 【和太鼓サークル [1997~99]】渡辺(3) 【アジアカルチャーサークル [1997~99]】坂口(3) 【国際サークル [2002]】内海



1993年（平成5年）教職員写真



2003年（平成15年）教職員写真

氏名	s49	s50	s51	s52	s53	s54	s55	s56	s57	s58	s59	s60	s61	s62	s63	h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8	h9	h10	h11	h12	h13	h14	h15	現勤務校		
中村 忠雄																																	
岡田 悦子																																	
小林 洋子																																	
川上 伸吉																																	
乾 明子																																	
<b>社会</b>																																	
橋本九二男																																	退職
平山 良彦																																	退職
赤塚 民三																																	三国丘高校長
石香 亨																																	退職
畑部 裕																																	物故
雨堤 敏子																																	東白舌島高
小川 勇																																	物故
北村 玲子																																	不明
早川 友三																																	長吉高
村上 広行																																	不明
渡辺 謙二																																	長吉高
関本 幸子																																	阿倍野高
高島 弘幸																																	退職
田中 靖二																																	不明
矢野 勝彦																																	不明
大野木好江																																	平野高
松本 正																																	平野高
阿形 恒秀																																	八尾北高教頭
吉野 勇二																																	退職
房水 進吾																																	金剛高
村上 晃美																																	浪速高校長
光田 藤一																																	平野高
岡田 正雄																																	八尾北高
川村 高明																																	物故
小西 顕治																																	退職
湯浅 博																																	東豊中高校長
中島 明人																																	長野高
樽原 竜二																																	狭山高
請田 正幸																																	泉大津高
塩野 順夫																																	退職
大川原香子																																	柏原東高
木田 誠																																	
斎部 幸則																																	
米澤 興治																																	
小関 嗣郎																																	
三村 信二																																	
西澤 宏一																																	
大橋 哲嗣																																	
<b>数学</b>																																	
川上 俊次																																	長尾高教頭
田中 道雄																																	山本高
中澤 一																																	富田林高
松浦 友志																																	長吉高
南 武夫																																	物故
伊賀崎良太																																	退職
大屋ひろみ																																	退職

氏名	s49:s50:s51	s52:s53	s54:s55:s56:s57:s58	s59:s60:s61:s62:s63	h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8	h9	h10	h11	h12	h13	h14	h15	現勤務校
伏井 信之																				現勤務校
冠木 宇治																				星と自然所長
西村 隆男																				堺上高
廣田 恭久																				退職
村田 和隆																				富田林高
森山 義博																				
石川 要三																				
吉田 正弘																				
八木沼 隆																				
織田 二郎																				
牧野進一郎																				
保健体育																				
青谷 耕児																				羽曳野高
井上 真也																				農芸高(定)
武田 章																				退職
菊田 秀子																				藤井寺養護
黒木 秀臣																				八尾養護
國分 俊夫																				横山高校長
玉井 規雄																				上神谷高
富山 治正																				柏原東商
南 昭																				退職
林 誠																				枚岡樟風高
藤井 克弥																				羽曳野高
磯野 彰																				大正高
渡辺 武																				長野北高
吉川 憲司																				平野高
塩田 明彦																				松原高
河上 修																				堺工業高
杉野美智子																				生野養教頭
藤原 安博																				
植田 亮介																				
西矢 幸司																				
石村 友秀																				
浅野 和実																				
芸術																				
杉本 照子(音)																				退職
長尾 良広(音)																				港高
金丸 七郎(音)																				退職
寺本 勉(美)																				退職
來住 隆一(書)																				高槻北高
杉田真規子(書)																				阿倍野高
角谷 修治(書)																				柏原東高
阪上 潤子(書)																				
英語																				
佐竹 鈴子																				堺東高教頭
辰巳 静司																				退職
辻 礼子																				退職
山内 政治																				退職
山田 慶文																				退職
小川 宏恭																				物故
奥田 康子																				枚方津田高
小松 基二																				住吉高



氏名	s49	s50	s51	s52	s53	s54	s55	s56	s57	s58	s59	s60	s61	s62	s63	h1	h2	h3	h4	h5	h6	h7	h8	h9	h10	h11	h12	h13	h14	h15	現勤務校	
麻野恵以子(化)																																
北村 直子(図)																																退職
柳生 鮎美(図)																																
<b>事務長</b>																																
齊藤 博																																退職
井上 悦男																																退職
松井 潔																																退職
福田 貴穂																																退職
近藤 利弘																																農林大学校
小山 昭子																																府庁特職
植本 宇一																																
<b>主査</b>																																
井上 悦男																																上記
溝畑 与文																																退職
河原 昭弘																																物故
緒方 正																																退職
谷口 光夫																																吹田高
奥野 利明																																羽曳野高
川谷 清一																																
<b>主事</b>																																
望月 朝子																																物故
近藤 利弘																																上記
鹿屋 英子																																物故
小谷 光一																																鳳土木管理事
中谷 工																																大和川高
倉渕 礼子																																退職
花岡 弘																																退職
松井 高美																																なにわ南税
西野 正幸																																泉陽高主査
森 博嗣																																大塚高主査
野村 芳美																																金剛高
山崎美和子																																生野高
橋寄 直人																																勝山高
馬場 和代																																羽曳野高
村上 節子																																
谷口 純一																																長吉高
松田 公子																																
豊田 俊典																																
<b>技師</b>																																
大中 一久																																退職
秋田 正夫																																退職
林 綾子																																退職
西岡宗三郎																																
遠藤 勇																																松原高
三原 秀之																																
<b>三師</b>																																
藤井 清(医)																																
西 真勝(医)																																
門口 元信(歯)																																物故
門口 元治(歯)																																
芝田 健二(薬)																																
田中 充子(薬)																																
山本美津子(薬)																																

〈同推委員長〉 平山 良彦 (74・75) 名村 恵史 (76・83) 赤塚 民三 (77~81) 国分 俊夫 (82)  
 福西 浩 (84~87) 房本 進吾 (88~90) 藤井 克弥 (91・92) 小西 顕治 (93~94)  
 北山 祥子 (95~97) 吉元紀美子 (98~2000) 村田 和隆 (2001~)

30周年記念事業実行委員会

実行委員長	若林和博	(同窓会会長)
副委員長	出口正広	(PTA会長)
	杉田良	(育友会前会長)
	渡辺俊一	(同窓会書記)
書記	里恵美	(教頭)
	米澤興治	(総務部長)
会計	植本宇一	(事務長)
	川谷清一	(主査)
委員	阿部豊	(育友会副会長)
	白樫真智子	(育友会)
	村上雅子	(育友会)
	浅島央司	(育友会)
	松内千加子	(育友会)
	稲垣秀司	(育友会)
	和田美智子	(PTA副会長)
	宮下博敏	(PTA副会長)
	北尾護	(PTA副会長)
	松本正章	(同窓会理事)
顧問	谷口政己	(校長)
	中川義英	(育友会前々会長)
	矢野耕治	(育友会会長)

創立30周年記念事業に関する総務委員会(教職員)

校長	谷口政己	
教頭	里恵美	
事務長	植本宇一	
総務部長	米澤興治	
同窓会顧問	阪本百合子	
	古川友子	
記念式典係	吉田正弘	十河静夫
	吉元紀美子	齋部幸則
記念誌係	石川要三	吉元紀美子
	吉田良男	松浦紀彦
	富山久仁子	
記念特別事業係	小関嗣郎	篠本明
記念祝賀会係	森山義博	植田亮介
	山口湧三	
《表紙絵》	松浦紀彦	

